

SUSE Linux Enterprise Desktop

11

www.novell.com

2009 5 14

GNOME ユーザガイド



GNOME ユーザガイド

All content is copyright © 2006- 2009 Novell, Inc.

保証と著作権

このマニュアルは、Novellの知的所有権で保護されています。このマニュアルを複製、コピー、または配布するには、本使用許諾契約の各条項に明示的に同意する必要があります。

このマニュアルは、以下の条件を満たす限り、電子的または印刷物などの形式で、自由に複製、コピー、配布することができます。

複製、コピー、配布されるコピーには、この著作権表示と作成者、貢献者名が明示的かつ弁別的に表示する必要があります。このマニュアルは、特に印刷形式の場合、非商用の目的でのみ複製、配布できます。本マニュアルの全部または一部を他の目的で使用する場合は、事前にNovell, Incから明示的な許可を得る必要があります。

Novellの商標リストについては、<http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html>のNovell Trademark and Service Mark Listを参照してください。
Linuxは、Linus Torvaldsの登録商標です。他のすべての第三者の商標は、各所有者が所有権を有しています。商標記号(®、™など)は、Novellの商標を表しています。アスタリスク()は、サードパーティの商標を表します。

本書のすべての情報は、細心の注意を払って編集されています。しかし、このことは絶対に正確であることを保証するものではありません。Novell, Inc.、Suse Linux Products GmbH、著者、翻訳者のいずれも誤りまたはその結果に対して一切責任を負いかねます。

目次

このガイドについて	vii
パート I 序文	1
1 GNOMEデスクトップの開始	3
1.1 ログインとデスクトップの選択	3
1.2 ログアウト	6
1.3 デスクトップの基礎知識	7
2 デスクトップの使用	15
2.1 メインメニューの使用	15
2.2 Nautilusを使ったフォルダとファイルの管理	19
2.3 フロッピーディスク、CD、DVDへのアクセス	25
2.4 ファイルの検索	26
2.5 アプリケーション間のテキストの移動	31
2.6 インターネット接続の管理	31
2.7 インターネットの探索	32
2.8 電子メールとスケジューリング	32
2.9 OpenOffice.orgでのドキュメントのオープンまたは作成	33
2.10 デスクトップの電源管理	34
2.11 アーカイブの作成、表示、および解凍	39
2.12 スクリーンショットを撮る	45
2.13 PDFファイルの表示	45
2.14 サウンドの制御	47
2.15 指紋リーダの使用	48
2.16 ソフトウェアアップデートの取得	48
2.17 詳細情報	49

3	設定のカスタマイズ	51
3.1	コントロールセンター	52
3.2	ハードウェア	54
3.3	外観	60
3.4	個人用	81
3.5	システム	82
4	支援技術	95
4.1	一般的なアクセス性機能	95
4.2	動作の障害	98
4.3	Orca	102
パート II GNOME ユーザガイド		105
5	ネットワークリソースへのアクセス	107
5.1	ネットワークに接続	108
5.2	ファイル共有とネットワーク参照に関する一般的な注意	108
5.3	ネットワーク共有へのアクセス	109
5.4	フォルダの共有	111
5.5	Windowsファイルの管理	112
5.6	Windowsネットワークプリンタの設定とアクセス	114
6	Beagleを使った検索	115
6.1	Beagleの使用	115
6.2	検索のヒント	117
6.3	Property Search(プロパティ検索)の実行	118
6.4	検索の環境設定	120
6.5	他のディレクトリのインデックス作成	122
6.6	ファイルとディレクトリにインデックスをつけない	124
6.7	インデックスするデータソースの選択	124
6.8	Beagleの無効化	125
6.9	詳細情報	125
7	プリンタの管理	127
7.1	プリンタのインストール	127
7.2	プリンタ設定の変更	129
7.3	印刷ジョブのキャンセル	129
7.4	プリンタの削除	130

8 ユーザデータのバックアップ	131
8.1 バックアップの作成	131
8.2 データの復元	133



このガイドについて

このマニュアルは、SUSE® Linux Enterprise Desktopに実装されているGNOMEのグラフィカルなデスクトップ環境の概要と、環境設定の方法について説明しています。複数のプログラムとサービスについても紹介します。Macintosh*、Windows*、またはその他のLinuxデスクトップなどのグラフィカルデスクトップ環境の使用経験を持つユーザを対象としています。

このマニュアルは2つの部分に分かれています。

序文

GNOMEデスクトップの概要と基本的な作業手順、および主なGNOMEアプリケーションやユーティリティの使用方法を説明しています。GNOMEが提供する多彩な機能について学習し、ご自身の目的に応じてデスクトップをご活用ください。視覚や運動面で障害をお持ちの方は、支援技術を利用してアクセシビリティを高めることができます。

GNOME ユーザガイド

ネットワークでのファイル共有方法、統合コラボレーション環境の使用方法、データの効果的な検索方法、プリンタの管理方法、データのバックアップ方法など、データの管理と交換に関する重要な情報を提供しています。

このマニュアル中の多くの章に、他の資料やリソースへのリンクが記載されています。これらの資料の中には、システムから参照できるものもあれば、インターネット上に公開されているものもあります。

ご使用の製品に利用できるドキュメントおよび最新のドキュメントアップデートの概要については、<http://www.novell.com/documentation>または後続のセクションを参照してください。

1 利用可能なマニュアル

これらのガイドブックは、HTMLおよびPDFの各バージョンを複数の言語で提供しています。この製品については、次のユーザー用および管理者用マニュアルがあります。

GNOME ユーザガイド (1 ページ)

SUSE Linux Enterprise DesktopのGNOMEデスクトップについて説明しています。デスクトップの使用および設定方法と、キータスクの実行方法を説明します。主として、デフォルトのデスクトップとしてGNOMEデスクトップを効率的に使用したいと考えるエンドユーザ向けです。

アプリケーションガイド (↑*アプリケーションガイド*)

SUSE Linux Enterprise Desktopの主なデスクトップアプリケーションの使用および設定方法について説明しています。ブラウザ、E-mailクライアント、オフィスアプリケーション、コラボレーションツールについて説明しています。グラフィックとマルチメディアアプリケーションについても扱っています。

Deployment Guide (導入ガイド) (↑*Deployment Guide* (導入ガイド))

単一または複数のシステムをインストールする方法および展開インフラストラクチャに製品本来の機能を活用する方法を示します。ローカルインストールまたはネットワークインストールサーバの使用から、リモート制御の高度にカスタマイズされた自動リモートインストール技術による大規模展開まで、多様なアプローチから選択できます。

管理ガイド (↑*管理ガイド*)

当初のインストールシステムの保守、監視、およびカスタマイズなど、システム管理タスクについて説明します。

Security Guide (セキュリティガイド) (↑*Security Guide* (セキュリティガイド))

システムセキュリティの基本概念を紹介し、ローカルセキュリティ/ネットワークセキュリティの両方の側面を説明します。製品固有のセキュリティソフトウェア(プログラムが読み込み/書き込み/実行の対象にするファイルをプログラムごとに指定できるNovell AppArmorなど)や、セキュリティ関係のイベント情報を確実に収集する監査システムを使用する方法を示します。

System Analys and Tuning Guide (システム分析およびチューニングガイド)

(↑*System Analys and Tuning Guide* (システム分析およびチューニングガイド))

問題の検出、解決、および最適化に関する管理者ガイド。ツールの監視によってシステムを検査および最適化する方法およびリソースを効率的に管理する方法を見つけることができます。よくある問題と解決、および追加のヘルプとドキュメントリソースの概要も含まれています。

Virtualization with Xen (*Xen* 仮想化ガイド) (↑*Virtualization with Xen* (*Xen* 仮想化ガイド))

ご使用製品の仮想化技術を紹介します。SUSE Linux Enterprise Serverでサポートされているプラットフォームのアプリケーションとインストールタイプに関するさまざまなフィールドの概要、およびインストール手順の簡単な説明について記載しています。

総合的なマニュアルに加えて、クイックスタートガイドも利用できます。

クイックスタートのインストール(↑クイックスタートのインストール)

システム要件を一覧し、DVDまたはISOイメージからのSUSE Linux Enterprise Desktopのインストールをステップごとに順を追って説明します。

Linux Audit Quick Start (*Linux* 監査クイックスタート)

監査システムを有効にし設定する方法と、主要タスク(監査ルールの設定、レポートの生成、ログファイルの分析など)を実行する方法を簡単に説明します。

Novell AppArmor Quick Start (*Novell AppArmor* クイックスタート)

naareg;の背景をなす主要概念を説明します。

大半のSUSE Linux Enterprise DesktopマニュアルのHTMLバージョンは、インストールしたシステム内の/usr/share/doc/manualか、ご使用のデスクトップのヘルプセンタで見つけることができます。マニュアルの最新の更新バージョンは、<http://www.novell.com/documentation>にあります。ここでは、製品のマニュアルのPDFまたはHTMLバージョンをダウンロードできます。

2 フィードバック

次のフィードバックチャンネルがあります:

- 製品コンポーネントのバグの報告や、改善強化要求の提出には、<https://bugzilla.novell.com/>を使用してください。Bugzillaを初めてご使用になる場合は、Novell Bugzilla ホームページの*Bug Writing FAQs*が参考になることがあります。
- 本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインドキュメントの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用して、コメントを入力してください。

3 マニュアルの表記規則

本書では、次の書体を使用しています：

- `/etc/passwd`: ディレクトリ名およびファイル名
- `placeholder:placeholder`は、実際の値で置き換えられます
- `PATH`: 環境変数 `PATH`
- `ls, --help`: コマンド、オプション、およびパラメータ
- `user`: ユーザまたはグループ
- **Alt**, **Alt + F1**: キー: 押すためのキーまたはキーの組み合わせ、キーはキーボードと同様に、大文字で表示されます
- `[ファイル]`, `[ファイル] > [名前を付けて保存]`: メニュー項目、ボタン
- *Dancing Penguins* (「*Penguins*」の章、↑他のマニュアル): 他のマニュアル中の章への参照です。

パート I. 序文



GNOMEデスクトップの開始

このセクションでは、製品で提供されるGNOMEデスクトップの規則、レイアウト、および一般的なタスクについて説明します。

GNOMEは使いやすいグラフィカルユーザインタフェースであり、ユーザのニーズや好みに合わせてカスタマイズできます。このセクションではGNOMEのデフォルト設定について説明します。ユーザ自身またはシステム管理者がデフォルト設定を変更している場合は、外観やキーボードショートカットなど、いくつかの点が異なっている場合があります。

1.1 ログインとデスクトップの選択

コンピュータに複数のユーザアカウントが設定されている場合、特定のユーザに対して自動ログインが設定されていない限り、一般的にすべてのユーザが認証を受ける必要があります。自動ログインでは、システムの起動時にユーザがデスクトップ環境に自動的にログインすることができます。この機能は、インストール中、またはYaSTのユーザ管理モジュールを使用すればいつでも有効または無効にできます。詳細については、第9章 *Managing Users with YaST* (↑*Deployment Guide* (導入ガイド))を参照してください。コンピュータがネットワーク環境内で稼動している場合に、そのコンピュータを利用する複数のユーザがいる場合は、システムの開始時にユーザ名とパスワードの入力を要求するプロンプトが表示されます。システムとユーザアカウントを自分で設定していない場合は、システム管理者にユーザ名とパスワードをお問い合わせください。

ログインプロセスを管理するプログラムは、システムにインストールされたデスクトップ環境によって異なります。GNOMEの場合はGDMになります。KDEデスクトップがインストールされている場合はKDMになります。

GDMログイン画面には次の項目が表示されます。

- **[ドメイン] メニュー** Active Directoryサーバに対して認証を受ける場合は、ログインするWindows*ドメインを選択します。それ以外のすべての認証方法の場合は、**[ローカルログイン]** を選択します。
- **ログインウィンドウ** マシンに対して**[シャットダウン]**、**[再起動]**、または**[サスペンド]**を指定するか、システムにログインします。リストから既存のユーザを選択するか、**[その他..]**を選択してユーザ名を手動で入力します。パスワードを入力し、**Enter**を押してログインします。ユーザ名を選択または入力すると、次に示す追加のメニューがパネルに表示されます。
- **[言語] メニュー** セッションで使用する言語を選択します。
- **[キーボード] メニュー** セッションで使用するキーボードレイアウトを選択します。
- **[セッション] メニュー** セッション中に実行するデスクトップを選択します。他のデスクトップをインストールしている場合、そのデスクトップがリストに表示されます。
- **[表示設定] メニュー** ここでは解像度やリフレッシュレートなどの表示設定を変更します。
- **アクセスの初期設定** このメニューを使用して補助技術の使用を設定します。詳細については「[第4章 支援技術\(95 ページ\)](#)」を参照してください。

1.1.1 セッション管理

セッションとは実際にログインしている期間を指します。セッション中は、アプリケーションの使用、印刷、Webのブラウズなどを行えます。

ログイン画面には複数のログインオプションがあります。たとえば、インターフェースに表示する言語を選択することができます。

ユーザー名とパスワードが認証されると、セッションマネージャが起動します。セッションマネージャによって、セッションごとに特定の設定を保存できます。また、最も最近のセッションのステータスを保存して、次にログインしたときにそのセッションに戻ることもできます。

セッションマネージャによって、次の設定を保存して復元できます。

- フォント、カラー、およびマウス設定などの、外観と動作の設定。
- 実行していたアプリケーション。ファイルマネージャやOpenOffice.orgプログラムなどが含まれます。

ティップ

セッションマネージャが管理しないアプリケーションは、保存と復元はできません。たとえば、ターミナルウィンドウのコマンドラインからviエディタを起動する場合は、セッションマネージャは編集中のセッションを復元できません。

セッション設定の設定に関する詳細は、3.5.8項「セッションの管理」(91ページ)を参照してください。

1.1.2 デスクトップの切り替え

GNOMEとKDEのデスクトップをインストールしている場合は、次の手順を使用して、デスクトップを切り替えます。

- 1 [コンピュータ] > [ログアウト] > [ログアウト] の順にクリックします。

KDEでは [メインメニュー] ボタンをクリックし、次に [Leave(終了)] > [> ログアウト] の順にクリックします。

- 2 KDEでは、ログイン画面で [セッション] をクリックし、該当するデスクトップを選択します。GNOMEでは、最初にユーザを選択または入力し、[セッション] メニューからデスクトップを選択します。
- 3 ユーザ名を入力して、Enterキーを押します。

- 4 パスワードを入力して、Enterキーを押します。

1.1.3 画面のロック

画面をロックするには、次のいずれかを実行します。

- [コンピュータ] > [画面のロック] の順にクリックします。
- [ロック] ボタンがパネルにある場合、そのボタンをクリックします。
[ロック] ボタンをパネルに追加するには、パネルを右クリックして、[パネルに追加] > [画面のロック] の順にクリックします。

画面をロックすると、スクリーンセーバーが起動し、画面がロックされます。画面をロック解除するには、マウスを移動するかキーを押して、ロックされた画面ダイアログを表示します。パスワードを入力して、Enterキーを押します。

スクリーンセーバーの設定についての詳細は、「3.3.4項「スクリーンセーバーの設定」(63 ページ)」を参照してください。

1.2 ログアウト

コンピュータを使い終わったら、ログアウトするか(システムを稼働したままにしておく)、コンピュータを再起動またはシャットダウンすることができます。システムに電源管理機能が装備されている場合は、コンピュータをサスペンドすることもできます。サスペンドすると、次のセッション起動が、完全に再起動する場合よりはるかに高速になります。

1.2.1 ログアウトまたはユーザの切り替え

- 1 [コンピュータ] > [ログアウト] の順にクリックします。
- 2 次のいずれかのオプションを選択します。

Log Out 現在のセッションからログアウトし、ログイン画面に戻ります。

ユーザーの切り換え セッションをサスペンド状態にして、別のユーザとしてログインしてコンピュータを使用します。

1.2.2 コンピュータの再起動またはシャットダウン

- 1 [コンピュータ] > [シャットダウン] の順にクリックします。
- 2 次のいずれかのオプションを選択します。

シャットダウン 現在のセッションからログアウトし、コンピュータの電源を切ります。

再開 現在のセッションからログアウトし、コンピュータを再起動します。

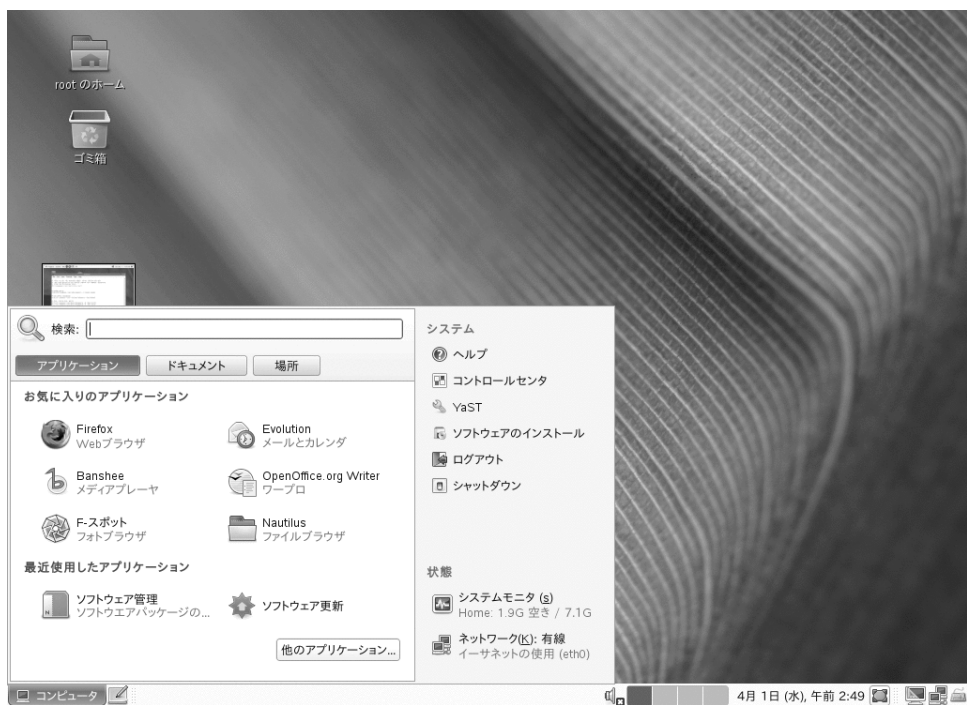
[一時停止] コンピュータを最低限の電力しか消費しない一時的な状態にします(「RAMへのサスペンド」)。セッションの状態は保持されます。これには、実行中のすべてのアプリケーションや、開いているすべてのドキュメントが含まれます。

休止 セッションをサスペンド状態にします。コンピュータを再起動するまでは、電力は消費されません(「ディスクへのサスペンド」)。セッションの状態は保持されます。これには、実行中のすべてのアプリケーションや、開いているすべてのドキュメントが含まれます。

1.3 デスクトップの基礎知識

他の一般的なデスクトップ製品と同様に、GNOMEデスクトップの主要なコンポーネントはファイル、フォルダ、プログラムへリンクするアイコン、そして画面の下にあるパネルです(Windowsのタスクバーに似ています)。アイコンをダブルクリックすると、関連するプログラムが起動します。アイコンを右クリックすると、詳細なメニューとオプションが表示されます。また、デスクトップで何もない場所を右クリックして、デスクトップ自体を設定または管理するための詳細メニューを表示することもできます。

☒ 1.1 GNOME デスクトップ



デフォルトでは、デスクトップには、ルートフォルダと削除されたアイテム用のごみ箱の2つのアイコンが配置されています。コンピュータ上のデバイスを示す他のアイコンもデスクトップに表示されることがあります。ホームフォルダをダブルクリックすると、Nautilusファイルマネージャが起動し、ホームディレクトリ(ユーザのファイルと環境設定の保存場所)の内容が表示されます。Nautilusの使い方の詳細については、2.2項「Nautilusを使ったフォルダとファイルの管理」(19 ページ)を参照してください。

アイコンを右クリックすると、コピー、切り取り、名前の変更などのファイル操作を行うためのメニューが表示されます。メニューから [プロパティ] を選択すると、設定ダイアログボックスが表示されます。[基本] タブでは、アイコン名とアイコン自体(アイコンをクリックして別のファイルを選択します)を変更できます。アイコンが示すオブジェクトの各種情報もここに表示されます。[エンブレム] タブでは、視覚的に内容を表す4つの記号をアイコンに追加することができます。[アクセス権] タブでは、選択したファイルへアクセスできるよう設定することができます。[メモ] タブでは、コメント

を管理できます。ごみ箱のメニューには *[Empty Trash]* オプションもあり、これでごみ箱の内容を削除できます。

リンクは特殊なファイルの種類で、別のファイルまたはフォルダをポイントします。リンクに対して何らかのアクションを実行する場合、そのアクションはリンクが参照するファイルまたはフォルダに対して実行されます。ただし、リンクを削除してもリンクファイルだけ削除され、リンクが参照しているファイルは削除されません。

デスクトップ上にフォルダまたはファイルへのリンクを作成するには、ファイルマネージャ内の該当するオブジェクトを右クリックしてオブジェクトにアクセスし、*[Make Link (リンク作成)]* をクリックします。*[ファイルマネージャ]* ウィンドウからリンクをドラッグして、デスクトップにドロップします。

1.3.1 デフォルトのデスクトップアイコン

デスクトップからアイコンを削除するには、アイコンをごみ箱にドラッグするだけで削除できます。ホームアイコンは削除できません。

警告

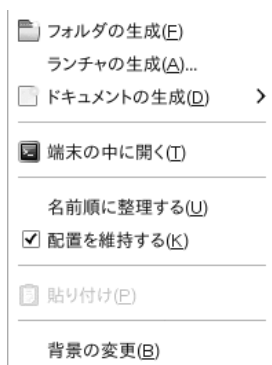
このオプションの使用には注意が必要です。フォルダやファイルのアイコンをごみ箱に移動して、ごみ箱を空にすると、実際のデータが削除されます。ファイルまたはディレクトリへのリンクだけを表示するアイコンの場合は、リンクだけ削除されます。

1.3.2 デスクトップメニュー

デスクトップで何も表示されていない場所を右クリックすると、さまざまなオプションのあるメニューが表示されます。新しいフォルダを作成するには *[Create Folder]* をクリックします。*[Create Launcher]* では、アプリケーションのランチャアイコンを作成できます。アプリケーション名と起動用のコマンドを提供し、使用するアイコンを選択します。*[Clean Up by Name (名前ごとに整列)]* を使用すると、デスクトップ上のアイコンを名前別に整列させることができます。*[Keep Aligned (グリッドに合わせて常に整列)]* をチェックすると、アイコンは常にグリッド上に整列します。このメニューでデスク

トップのバックグラウンドを変更したり、ターミナルウィンドウを開くこともできます。

☒ 1.2 GNOME デスクトップメニュー



1.3.3 ボトムエッジパネル

デスクトップには、画面の下端を横切るパネルが含まれています。一番下のパネルには、[メインメニュー] (Windows*の [スタート] メニューに類似) と、現在実行しているすべてのアプリケーションのアイコンが表示され、アプリケーションやアプレットにも簡単にアクセスできるタスクバーが含まれています。タスクバーでプログラム名をクリックすると、それに対応するプログラムがフォアグラウンドになります。プログラムが既にフォアグラウンドになっている状態で、ウィンドウのタイトルをクリックすると、そのプログラムは最小化されます。最小化されたアプリケーションをクリックすると、該当するウィンドウがフォアグラウンドで再び開きます。

☒ 1.3 GNOME のボトムエッジパネル



[*Show Desktop*] アイコンがボトムエッジパネルの右にあります。このアイコンですべてのプログラムウィンドウを最小化し、デスクトップを表示します。また、すべてのウィンドウが最小化されている場合は、それらが再表示されます。

パネルの空白の領域を右クリックすると、メニューが表示され、次にリストされたオプションを使用できます。

表 1.1 パネルメニューオプション

オプション	説明
パネルへ追加	パネルに追加できるアプリケーションとアプレットのメニューが開きます。
プロパティ	選択したパネルのプロパティを変更します。
Delete This Panel	デスクトップからパネルと、パネルのすべての設定を削除します。
[パネルの移動を許可/パネルポジションをロック]	パネルを画面の別の側にドラッグしたり、現在の位置にロックすることができます。
新しいパネル	新しいパネルを作成し、デスクトップに追加します。
ヘルプ	Help Centerを開きます。
パネルについて	パネルアプリケーションに関する情報ウィンドウを開きます。

1.3.4 アプレットとアプリケーションをパネルに追加

ボトムエッジパネルにアプリケーションとアプレットを追加すると、すぐにアクセスできるようになります。アプレットとは小さなプログラムのことで、アプリケーションは通常、より強力なスタンドアロンプログラムです。アプレットを追加すると、便利なツールが簡単にアクセスできる場所に配置されます。

GNOMEデスクトップには多くのアプレットが付属しています。ボトムエッジパネルを右クリックして [パネルに追加] を選択すると、詳しいリストが表示されます。

図 1.4 [パネルへ追加] ダイアログボックス



便利なアプレットの例は次の通りです。

表 1.2 役に立つアプレット

アプレット	説明
辞書検索	オンライン辞書で単語を検索します。
強制終了	アプリケーションを終了します。これは、応答しないアプリケーションを終了したいときに特に便利です。
ファイルの検索	コンピュータ上のファイル、フォルダ、文書を検索します。
覚え書き	デスクトップ上で覚え書きを作成、表示、管理できます。
従来のメインメニュー	GNOMEの旧バージョンのように、メニューからプログラムにアクセスします。これは、GNOME

アプレット	説明
音量調節	の旧バージョンに慣れているユーザには特に便利です。
天気予報	音量を調節します。
ワークスペーススイッチ	特定の都市の現在の気象情報を表示します。
	仮想デスクトップから別の作業領域(ワークスペース)にアクセスします。たとえば、さまざまなワークスペースでアプリケーションを開き、他のアプリケーションの干渉を受けずにそれぞれのデスクトップでそのアプリケーションを使用することができます。



2

デスクトップの使用

ではデスクトップの使用を開始しましょう。この章では、アプリケーションの起動方法、ファイルの管理と検索、およびCDへのデータの書き込み方法について説明します。GNOMEの電源管理の概念や、デスクトップで通常のタスクを実行する方法を理解できるようになります。

2.1 メインメニューの使用

下部パネルの左端にある [コンピュータ] をクリックすると、 [メインメニュー] に最近使用したアプリケーションが表示されます。 [ドキュメント] をクリックして最近使ったドキュメントを表示したり、 [場所] をクリックしてお気に入りの場所(ホームディレクトリやデスクトップなど)を表示することもできます。 [他のアプリケーション] をクリックすると、他のアプリケーションがカテゴリ別に表示されます。右側にあるオプションを使って、ヘルプの表示、他のソフトウェアのインストール、GNOMEコントロールセンタの表示、画面のロック、デスクトップからのログアウト、ハードディスクやネットワーク接続のステータスの確認などの作業を行えます。

☒ 2.1 メインメニュー



[メインメニュー]には、さまざまな要素が含まれています。

2.1.1 検索バー

検索バーを使って、システム上のアプリケーションやファイルを検索することができます。[検索]フィールドに検索する単語を入れて、Enterキーを押してください。結果は[デスクトップ検索]ダイアログボックスに表示されます。

GNOMEデスクトップの検索機能であるBeagleを使用する方法の詳細については、「第6章 Beagleを使った検索(115ページ)」を参照してください。

2.1.2 メインメニューのタブ

[アプリケーション]、[ドキュメント]、または[場所]タブをクリックして、メインメニューに表示するアイコンを変更することができます。

お気に入りのアプリケーション

デフォルトでは、[お気に入りのアプリケーション]には、一般的に使用される4つのアプリケーションのアイコンが表示されます。頻繁に使用するアプリケーションを表示する場合に、このビューをカスタマイズします。

お気に入りのアプリケーションに項目を追加する

- 1 [コンピュータ] > [他のアプリケーション] の順にクリックします。
- 2 追加するアプリケーションを右クリックします。
- 3 [お気に入りに追加] を選択します。

選択したアプリケーションが [お気に入りのアプリケーション] に追加されます。

お気に入りのアプリケーションから項目を削除する

- 1 [コンピュータ] をクリックします。
- 2 メインメニューにお気に入りのアプリケーションが表示されていることを確認します。メインメニューに [お気に入りのアプリケーション] が表示されていない場合は、[アプリケーション] をクリックします。
- 3 削除する項目を右クリックします。
- 4 [お気に入りから削除] を選択します。

最近使用したアプリケーション

[最近使用したアプリケーション] には、過去2時間から4時間以内に起動したアプリケーションが表示されます(これらのアプリケーションが [お気に入りのアプリケーション] に表示されていない場合)。

最近使ったファイル

[ドキュメント] タブをクリックして、[お気に入り] と [最近のドキュメント] を表示します。このビューを使用すると、最も頻繁に使用したドキュメントまたは最近使用したドキュメントを素早く探すことができます。ファイルブラウザを表示するには、[他のドキュメント] をクリックします。[最近のドキュメント] から [お気に入りのドキュメント] のセクションにドキュメントを移動するには、ドキュメントを右クリックして、[お気に入りに追加] を選択します。

最近使用した場所

最近開いた場所を表示する場合は、[\[場所\]](#) タブをクリックします。このビューは、最近作業を行った場所を素早く探す場合に役立ちます。ファイルブラウザを表示するには、[\[他の場所\]](#) をクリックします。

2.1.3 システム

システムには、さまざまなシステムアプリケーションへのショートカットが用意されています。

表 2.1 システムショートカット

アプリケーション	説明
ヘルプ	Help Centerを開きます。ここから、システムのオンラインヘルプを参照することができます。
の最大数	デスクトップのカスタマイズと環境設定を行えます。詳細については、第3章 設定のカスタマイズ (51 ページ) を参照してください。
YaST	システムのカスタマイズと環境設定を行えます。
[Install Software]	新しいソフトウェアのインストールを支援するソフトウェアインストーラを開きます。
画面のロック	離席している間、システムを他人に利用されないように、画面をロックします。システムをアンロックするには、パスワードを入力してください。
ログアウト	[ログアウト] ダイアログを開きます。ここから、ログアウトしたり、ユーザを切り替えることができます。
シャットダウン	[シャットダウン] ダイアログを表示します。ここから、システムをシャットダウン、または再起動することができます。

ます。このショートカットからコンピュータをサスペンドすることもできます。

2.1.4 ステータス

状態には、ハードディスクの利用可能容量や使用しているネットワーク接続の種類など、ハードドライブとネットワーク接続に関する情報が表示されます。

2.2 Nautilusを使ったフォルダとファイルの管理

フォルダおよびドキュメントの作成(または表示)、スクリプトの起動、およびデータCDの作成には、Nautilusファイルマネージャを使用します。さらに、ファイルマネージャはWebとファイルの表示をサポートします。

ファイルマネージャは、次の方法で開くことができます。

- [コンピュータ] > [Nautilusファイルブラウザ] の順にクリックします。
- デスクトップのホームディレクトリアイコンをダブルクリックします。
- [コンピュータ] > [他のアプリケーション] > [システム] > [ホームフォルダ]、または [Nautilusファイルブラウザ] の順にクリックします。

2.2 ファイルマネージャ



Nautilusウィンドウの要素には、次の内容が含まれています。

メニュー ファイルマネージャではほとんどのタスクを実行できます。ファイルマネージャウィンドウ内で右クリックして、状況に依存したポップアップメニューを表示することもできます。このメニュー内の項目は右クリックした場所によって変わります。たとえば、ファイルまたはフォルダを右クリックすると、そのファイルやフォルダに関連する項目を選択できます。ビューペインのバックグラウンドで右クリックすると、ビューペイン内の項目の表示に関連する項目を選択できます。

ツールバー ファイルとフォルダを素早く探しアクセスすることができます。ツールバーには、[戻る]、[進む]、[上]、[停止]、[リロード]、[ホーム]、[コンピュータ]、および[検索] ボタンがあります。

場所ツールバー ファイル、フォルダ、およびURIサイトを検索できます。ロケーションバーは従来のテキストベースのビュー(パスの入力または編集が可能)と、ボタンビュー(各フォルダがボタンとして表示される)という2つのビューをサポートしています。ボタンを押すとその場所に移動します。

サイドペイン 選択されたファイルまたはフォルダへの移動や選択したファイルまたはフォルダに関する情報を表示できます。ペインへの表示項目をカスタマイズするには、ドロップダウンリストを使用します。リストには、ファイルに関する情報の表示方法、ファイルに関する操作の実行方法、ファイルへのエンブレムの追加方法、最近訪問したサイトの履歴の表示方法、ツリーでのファイルの表示方法が含まれています。サイドペインを閉じるには、サ

イドペインの右上のX印をクリックします。サイドペインを表示するには、[表示] >> [サイドペイン] の順にクリックするか、F9キーを押します。

参照ペイン フォルダとファイルを表示します。[表示] メニューのオプションを使用して、コンテンツのズームを行うか、さまざまなソートオプションから選択します。項目を詳細リスト、縮小リスト、またはアイコンとして表示することもできます。

ステータスバー フォルダ内の項目数と使用可能な空き領域を表示します。ファイルを選択すると、ステータスバーにファイル名とサイズを表示します。

2.2.1 ファイルマネージャナビゲーション ショートカット

ファイルマネージャ内を移動するために、次のようなショートカットが用意されています。

表 2.2 ファイルマネージャナビゲーションショートカット

ショートカット	説明
<←またはAlt + ↑	親フォルダを開きます。
矢印キー	項目を選択します。
Alt + ↓ or Enter	項目を開きます。
Shift + Alt + ↓	項目を開いて、現在のフォルダを閉じます。
Shift + Alt + ↑	親フォルダを開いて、現在のフォルダを閉じます。
Shift + Ctrl + W	すべての親フォルダを閉じます。
Ctrl + L	ロケーションバーのビューを、ボタンビューからテキストベースのビューに切り替えます。

ショートカット	説明
Alt + Home	ホームディレクトリを開きます。

詳細は、ファイルマネージャで [ヘルプ] > [目次] の順に選択してください。

2.2.2 フォルダのアーカイブ

アーカイブ保存したいファイルがある場合は、ファイルをテープアーカイブ形式(TAR)に圧縮できます。

- 1 Nautilus参照ペインでアーカイブするフォルダを右クリックし、[Create Archive] をクリックします。



- 2 デフォルトのアーカイブファイル名を使用するか、または新しい名前を入力してください。
- 3 ドロップダウンリストからファイルの拡張子を選択します(最も一般的なアーカイブ形式であるtar.gzか、Windowsとの互換性がある.zipを選択します)。
- 4 アーカイブファイルの場所を指定して、[作成] をクリックします。

アーカイブファイルを展開するには、ファイルを右クリックして、[Extract Here] を選択します。

2.2.3 CDまたはDVDの作成

システムにCDまたはDVDの読み込み/書き込みドライブがある場合は、Nautilusファイルマネージャを使用して、CDやDVDを作成できます。

- 1 [コンピュータ] >> [他のアプリケーション] >> [マルチメディア] >> [GNOME CD/DVDクリエータ] の順にクリックするか、空のディスクを挿入して、[Make Data CD/DVD (データCD/DVDの作成)] または [Make Audio CD/DVD (オーディオCD/DVDの作成)] をクリックします。
- 2 ディスクに保存したいファイルをNautilus [CD/DVDクリエータ] ウィンドウにドラッグアンドドロップします。



- 3 [ディスクに書き込む] をクリックします。
- 4 [ディスクに書き込む] ダイアログボックスの情報を変更するか、デフォルト値を使用して [Write (書き込み)] をクリックします。

ファイルがディスクに書き込まれます。書き込むデータ量や、ドライブの書き込み速度によっては、処理が完了するまで数分間かかることもあります。

ISOイメージの書き込みを行うには、Nautilus内でISOイメージファイルを右クリックし、[Open with CD/DVD Creator (CD/DVDクリエータで開く)] を選択

します。[ディスクに書き込む] ダイアログボックスの情報を変更するか、デフォルト値を使用して[書き込み]をクリックします。

データ書き込み用のアプリケーションであるBraseroを使用して、CDまたはDVDへの書き込みを行うこともできます。詳細については、第27章 *Brasero* によるCDおよびDVDの書き込み(↑アプリケーションガイド)を参照してください。

2.2.4 ブックマークの使用

Nautilusのブックマーク機能を使用して、お気に入りのフォルダに印を付けることができます。

- 1 ブックマークを作成するフォルダや項目を選択します。
- 2 [ブックマーク] > [ブックマークに追加] の順にクリックします。フォルダ名をブックマーク名としてブックマークがリストに追加されます。ファイルをブックマークすると、フォルダがブックマークされます。
- 3 ブックマークリストから項目を選択するには [ブックマーク] をクリックしてからリストの目的のブックマークをクリックします。

[ブックマーク] > [ブックマークの編集] をクリックし、ダイアログボックスから選択して、ブックマークリストを整理できます。



ブックマークの順番を変更するには、ブックマークをクリックして、目的の場所にドラッグします。

2.2.5 ファイルマネージャの設定

ファイルマネージャの設定を変更するには、**[編集] > [設定]** の順にクリックします。詳細については、3.3.7項「ファイル管理の初期設定の指定」(68 ページ)を参照してください。

2.2.6 リモートファイルへのアクセス

Nautilusを使用してリモートサーバ上のファイルにアクセスすることができません。詳細については、第5章 ネットワークリソースへのアクセス(107 ページ)を参照してください。

2.3 フロッピーディスク、CD、DVDへのアクセス

フロッピーディスク、CD、DVDにアクセスするには、該当するメディアを適切なドライブに挿入します。メディアのアイコンがデスクトップ上に自動的に作成されます。多くの場合、リムーバブルメディアをコンピュータに挿入するか接続すると、ファイルマネージャウィンドウが自動的に表示されます。ファイルマネージャが開かない場合は、そのドライブのアイコンをダブルクリックして、内容を表示してください。

警告

ディスクの使用後は、ドライブからディスクを安易に取り出さないでください。フロッピーディスク、CD、およびDVDは必ず先にシステムからマウント解除しなければなりません。メディアにアクセス中のすべてのアプリケーションを終了し、メディアのアイコンを右クリックして、メニューから**[ボリュームの取り出し]**または**[ボリュームのマウント解除]**をクリックします。トレイが自動的に開いてから、フロッピーディスク、CD、またはDVDを取り出してください。

フロッピーディスクは、**[コンピュータ] >> [他のアプリケーション] >> [システム] >> [フロッピーをフォーマット]** の順にクリックするとフォーマットできます。**[フロッピーをフォーマット]** ダイアログで、フロッピー

ディスクの密度とファイルシステムの設定を選択します。Linuxで使用する場合は、Linuxネイティブ(ext2)を、Windowsシステムで使用する場合は、DOS (FAT)を指定します。

2.4 ファイルの検索

[コンピュータ] >> [他のアプリケーション] >> [システム] メニューの [ファイル検索] を使用すると、任意の数の検索条件を使用して、コンピュータ上またはネットワーク共有フォルダ内のファイルを検索することができます。

図 2.3 [ファイル検索]



[ファイル検索] は、UNIXコマンドの検索、grep、およびlocateを使用します。検索では常に、大文字と小文字が区別されます。

[アプリケーションの実行] ダイアログ(Alt + F2で起動)に次のコマンドを入力して、[ファイル検索] ダイアログを開くこともできます。

```
gnome-search-tool
```

2.4.1 基本検索の実行

- 1 [ファイルの検索] の開始。

- 2 [対象となる名前] に検索文字列を入力します。

次の表のように、検索文字列にファイル名やファイル名の一部を指定したり、ワイルドカードを使用することができます。

検索文字列	例	結果
ファイル名またはファイル名の一部	myfile.txt	ファイル名に「myfile.txt」を含むすべてのファイルを検索します。
ワイルドカードを使ってファイル名の一部を指定(*[])	*.ch	ファイル拡張子が.cまたは.hのすべてのファイルを検索します。

- 3 [対象となるフォルダ] フィールドには、[ファイル検索] を開始するディレクトリを選択します。
- 4 [検索] をクリックします。

2.4.2 検索オプションの追加

ファイルを内容、日付、所有者、またはファイルサイズで検索する場合は、[もっとたくさんのオプションを選択します] を使用します。

- 1 [ファイルの検索] の開始。
- 2 [対象となる名前] に検索文字列を入力します。
- 3 [対象となるフォルダ] フィールドには、ファイルの検索を開始するディレクトリのパスを入力します。
- 4 [もっとたくさんのオプションを選択します] をクリックして、次に [適用する検索条件] をクリックします。
- 5 利用する検索オプションを選択して、[追加] をクリックします。

次のオプションを指定できます。

オプション	説明
次のテキストを含む	ファイル名でファイルを検索します。完全なファイル名またはファイル名の一部をワイルドカードを使ってフィールドに指定します。一連の文字列を表すには、アスタリスク(*)を使用します。任意の1文字を表すには、クエスチョンマーク(?)を使用します。検索では大文字と小文字が区別されます。
次の日数より前に変更した	指定された期間(日数)内に変更されたファイルを検索します。
次の日数より前に変更した	指定された期間(日数)より前に変更されたファイルを検索します。
次のサイズよりも小さい	指定されたサイズ(KB)以上のファイルを検索します。
次のサイズよりも大きい	指定されたサイズ(KB)以下のファイルを検索します。
ファイルが空である	空のファイルを検索します。
次のユーザが所有する	指定されたユーザが所有しているファイルを検索します。テキストボックスにユーザ名を入力してください。
次のグループが所有する	指定されたグループが所有しているファイルを検索します。テキストボックスにグループ名を入力してください。
所有者が不明である	システムが知らないユーザまたはグループが所有しているファイルを検索します。
次の名前を含まない	入力した文字列を含まないファイル名を検索します。完全なファイル名またはファイル名の一部をワイルドカードを使ってフィールドに指定します。一連の文字列を表すに

オプション	説明
名前が次の正規表現に一致する	<p>は、アスタリスク(*)を使用します。任意の1文字を表すには、クエスチョンマーク(?)を使用します。検索では大文字と小文字が区別されます。</p> <p>ディレクトリパスまたはファイル名に、指定された正規表現を持つファイルを検索します。テキストボックスに正規表現を入力してください。</p> <p>正規表現は、検索パターンを指定するために使用される特殊文字列です。詳細については、http://www.regular-expressions.infoを参照してください。</p>
隠しファイル/フォルダを表示する	隠しファイルとバックアップファイルも検索対象にします。
シンボリック・リンクを追跡する	ファイルの検索時に、シンボリックリンクも検索します。
他のファイルシステムにある	開始ディレクトリと同じファイルシステム内にはないディレクトリも検索します。

- 6 検索オプションに対応した検索情報を指定してください。
- 7 現在の検索から検索オプションを削除するには、オプションの隣にある [削除] をクリックします。
- 8 [検索] をクリックします。

2.4.3 検索結果リストの使用

[検索結果] (検索結果)リストを使って、見つかったファイルを開いたり、削除したり、検索結果をファイルに保存することができます。

☒ 2.4 検索結果リスト



検索結果リストに表示されたファイルを開くには、ファイルを右クリックして [開く] をクリックするか、またはファイルをダブルクリックします。検索結果リストに表示されているファイルのあるフォルダを開くには、ファイルを右クリックして [フォルダを開く] をクリックします。

検索結果リストに表示されているファイルを削除するには、ファイルを右クリックして [ゴミ箱へ移動する] をクリックします。

[ファイル検索] で得られた最新の結果を保存するには、検索結果内の任意の場所を右クリックして [検索結果に名前を付けて保存] をクリックします。検索結果を含むファイルの名前を入力し、[保存] をクリックします。

2.4.4 クイック検索を無効にする

[ファイル検索] のデフォルトでは、locateコマンドを使って一部の検索の高速化を試みます。locateコマンドは、ファイルの安全なインデックス化によりファイル検索を高速化します。locateコマンドはファイルインデックスを利用しているため、検索結果が最新の情報ではない可能性もあります。こ

のクイック検索を無効にするには、ターミナルウィンドウで次のコマンドを実行してください。

```
# gconftool-2 --type=bool --set  
/apps/gnome-search-tool/disable_quick_search 1
```

2.5 アプリケーション間のテキストの移動

アプリケーション間でテキストをコピーするには、テキストを選択して、貼り付けたい場所までマウスカーソルを移動します。マウスの中央のボタンまたはスクロールホイールをクリックしてテキストを貼り付けます。

プログラム間で情報をコピーする場合、ソースプログラムを開いたままにしてテキストを貼り付け、その後プログラムを閉じます。プログラムが終了すると、そのアプリケーションからコピーしたクリップボードにある内容が失われます。

2.6 インターネット接続の管理

インターネットを参照したり、電子メールを送受信するには、YaSTを使ってインターネット接続を設定する必要があります。ご利用の環境に合わせて、YaSTでNetworkManagerを使用するかどうかを選択します。GNOMEでは、「項「Using GNOME NetworkManager Applet」(第23章 *Using NetworkManager*, ↑管理ガイド)」に記載されている方法でNetworkManagerとのインターネット接続を確立できます。

NetworkManagerを使用するかどうかの判断基準については、「項「Use Cases for NetworkManager」(第23章 *Using NetworkManager*, ↑管理ガイド)」を参照してください。

2.7 インターネットの探索

GNOMEデスクトップには、Mozilla*ベースのFirefoxブラウザが含まれています。[コンピュータ] > [Firefox] の順にクリックすると、このブラウザを起動できます。

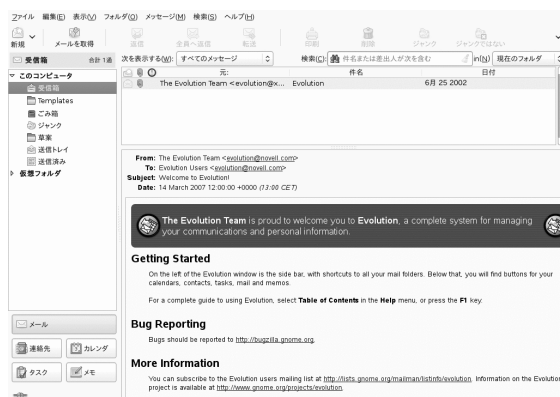
別のWebブラウザと同じように、上にある場所ツールバーにアドレスを入力するか、ページにあるリンクをクリックして、別のページに移動できます。

詳細については、第18章 *Firefox*を使用したブラウジング(↑アプリケーションガイド)を参照してください。

2.8 電子メールとスケジューリング

メールやイベントを参照、管理するために、SUSE Linux Enterprise Desktopには個人情報 の保管、整理、検索を簡単に行えるグループウェアプログラムであるNovell® Evolution™が提供されています。

Evolutionでは、電子メール、カレンダー、アドレス帳、メモ帳、およびタスクリストが単一の使いやすいアプリケーションにシームレスに統合されています。通信とデータ交換のさまざまな標準に幅広く対応しているため、EvolutionはMicrosoft* Exchangeを含めた、既存の社内ネットワークやアプリケーションと連携することができます。



Evolutionを開始するには、[コンピュータ] > [その他のアプリケーション] > [オフィス] > [Evolution のメールとカレンダー] の順にクリックします。

初めてEvolutionを起動すると、メールアドレスをセットアップして、古いメールアドレスからのインポートをサポートする質問に回答するよう求められます。次に、新着メールの件数や今後の予定とタスクが表示されます。カレンダー、アドレス帳、メールツールは左のショートカットバーから使用できます。

詳細については、第6章 *Evolution: 電子メールとカレンダーリング* (↑アプリケーションガイド)を参照してください。

2.9 OpenOffice.orgでのドキュメントのオープンまたは作成

ドキュメントの作成と編集のために、GNOMEデスクトップと一緒にOpenOffice.orgがインストールされています。OpenOffice.orgはすべてが揃ったオフィスツールで、Microsoft Officeファイルを読み込んだり、Microsoft Office形式でファイルを保存することができます。OpenOffice.orgには、ワードプロセッサ、表計算、データベース、描画ツール、およびプレゼンテーションプログラムが含まれます。

このツールを使用するには、[コンピュータ] >> [OpenOffice.org Writer] の順にクリックするか、[コンピュータ] >> [他のアプリケーション] >> [Office] の順にクリックして、開くモジュールを選択することで、OpenOffice.orgモジュールを選択します。

OpenOffice.orgにはサンプルドキュメントとテンプレートがいくつか含まれています。[ファイル] >> [新規] >> [テンプレートと文書] の順にクリックすると、テンプレートにアクセスできます。また、レターや他の定型文書の作成の手順を説明するウィザードを使用することができます。

詳細は、「第1章 *OpenOffice.org Office Suite* (↑アプリケーションガイド)」を参照してください。または、OpenOffice.orgプログラムの[ヘルプ]を参照してください。

2.10 デスクトップの電源管理

GNOME電源マネージャはGNOMEデスクトップのセッションデーモンで、ラップトップまたはデスクトップコンピュータの電源設定を管理します。バッテリーで駆動している場合は、GNOME電源マネージャによってバッテリーの状態を示すバッテリーアイコンがパネル内に表示されます。アイコン上にマウスを動かすと、詳細な情報が示されたポップアップが表示されます。バッテリーの現在の状態を示す詳細情報を表示するには、アイコンを左クリックし、[ラップトップバッテリー] を選択します。バッテリーの残量が非常に少ない場合など、特定のイベントでは、GNOME電源マネージャによってイベントに関する通知情報が表示されます。

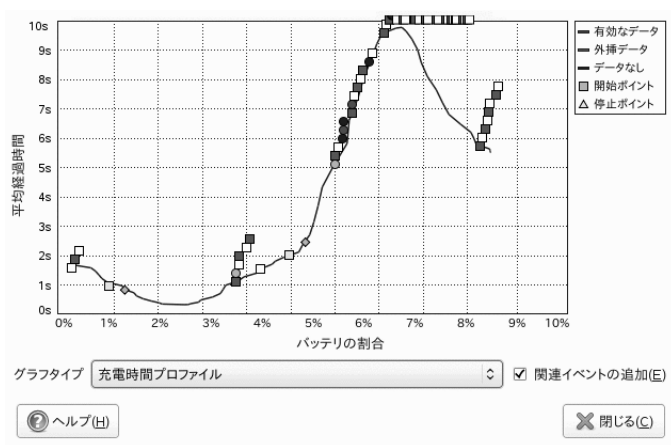
GNOME電源マネージャはGNOMEの起動時に自動的に起動しますが、次のコマンドを使用して手動でGNOME電源マネージャを起動することができます。

```
gnome-power-manager --verbose --no-daemon
```

2.10.1 電源に関する統計情報の表示

統計プログラムを使用して、ラップトップハードウェアの電源消費をグラフィック形式で表示することができます。統計情報のグラフにアクセスするには、バッテリーアイコンを右クリックし、[電源履歴] を選択するか、[コンピュータ] >> [他のアプリケーション] >> [システム] >> [電源統計] の順にクリックします。

図 2.5 バッテリ電源からACへの電源履歴



電源履歴グラフには、複合一次バッテリーが充電に使用している電源履歴が表示されます。ラインはシステム内のバッテリーを充電するために使用している電力量、またはシステムがバッテリーから使用している電力量を示します。プロセッサの使用量が多いタスクを実行するとラインが上昇し、システムがアイドル状態の場合(または画面を暗くしている場合)はラインが下降します。データイベントを受信すると、このグラフに説明が表示されます。

充電中や放電中以外、あるいはコンピュータがサスペンドされた場合はレートへのデータは受信しません。これはハードウェア上の制約によるものです(マザーボード上の電源管理チップではなく、バッテリー管理チップからレートが送信されるため)。

ハードウェアによっては、他のグラフを [グラフタイプ] メニューから使用できます。オプションの [デバイス] ボタンを使用して、追加のハードウェアを表示できる場合もあります。

2.10.2 電源管理設定の変更

[電源管理の設定] ダイアログボックスでは、システムがACまたはバッテリー電源を使用している場合のLCDの輝度、スクリーンセーバが起動するまでのアイドル時間とサスペンド動作、ラップトップのふたを閉じた場合の動作、通知エリアのアイコンポリシーを制御することができます。

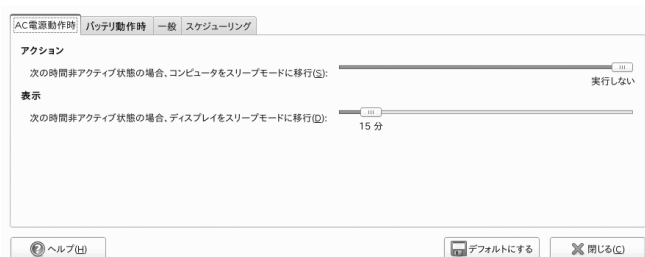
[電源管理の設定] にアクセスするには、バッテリーアイコンを右クリックして [設定] を選択するか、 [コンピュータ] >> [他のアプリケーション] >> [システム] >> [電源管理] の順にクリックします。

AC電源動作時の設定

[AC電源動作時] ダイアログボックスのオプションを使用して、一定時間コンピュータが非アクティブな場合は自動的にスリープ状態にすることができます。コンピュータがスリープ状態になると、電源が入った状態のまま省電力モードになります(RAMへのサスペンド)。電源を切った状態からコンピュータを起動するよりも短い時間でスリープ状態から復帰できます。

ディスプレイだけスリープ状態にして、ディスプレイの輝度を調整することもできます。実行中のタスク(DVDへのデータ書き込みなど)をコンピュータから離れている間に完了したい場合は、ディスプレイだけをスリープ状態にします。

図 2.6 AC電源設定におけるGNOMEの電源管理



バッテリー電源動作時

[バッテリー電源動作時] ダイアログボックスを使用して、一定時間コンピュータが非アクティブな場合は自動的にスリープ状態にしたり、ラップトップのふたを閉じた場合の動作とバッテリー電源が非常に少なくなった場合の動作を指定したりできます。

コンピュータがスリープ状態になると、電源が入った状態のまま省電力モードになります(RAMへのサスペンド)。電源を切った状態からコンピュータを起動するよりも短い時間でスリープ状態から復帰できます。

ディスプレイだけをスリープ状態にすることもできます。実行中のタスク(DVDへのデータ書き込みなど)をコンピュータから離れている間に完了したい場合は、ディスプレイだけをスリープ状態にします。

図 2.7 GNOME電源マネージャのバッテリー電源設定



一般的な初期設定

[一般電源管理の一般設定] ダイアログボックスのオプションを使用して、電源またはサスペンドボタンを押したときの動作、[通知] エリアにアイコンを表示するかどうか、エラー時に音で通知するかどうかなど、GNOME電源マネージャの動作に関連する各種オプションを設定することができます。

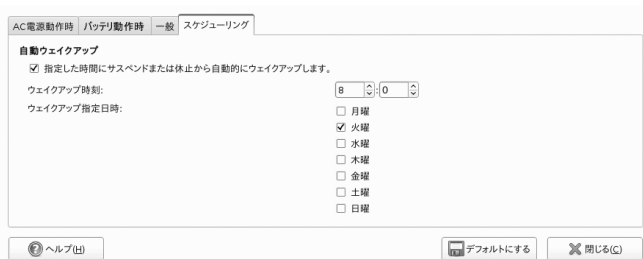
図 2.8 GNOME電源マネージャの一般設定



ウェイクアップのスケジュール

[電源管理の一般設定] ダイアログボックスの [スケジューリング] タブを使用して、サスペンド状態からの自動的なウェイクアップを設定します。ウェイクアップする時刻や曜日を指定します。

図 2.9 GNOME電源マネージャのスケジュール設定



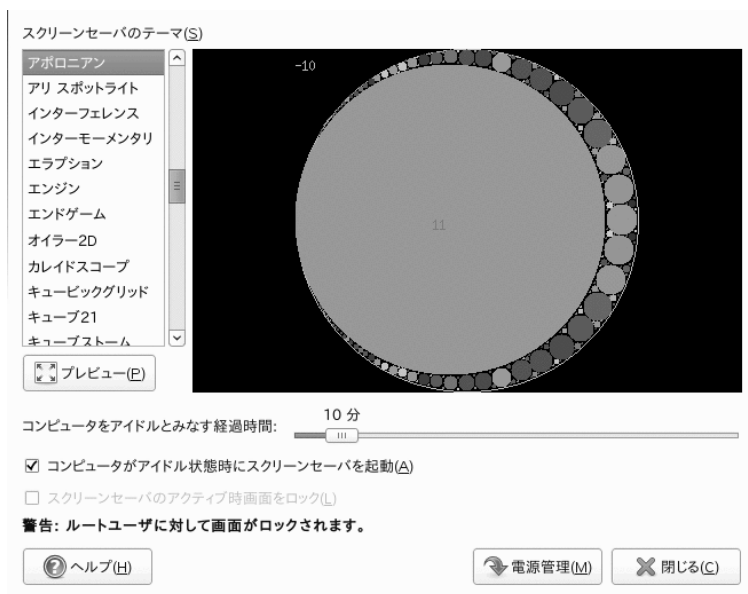
2.10.3 セッションとシステムのアイドル時間

gnome-screensaverはセッションデーモンであり、ユーザ入力を監視し(マウスの動きがあったかどうかやキーボードが押されたかどうかを監視)、タイムアウトを開始します。このタイムアウトが [スクリーンセーバの設定] で設定された値([コンピュータをアイドルとみなす経過時間] オプションを使用)に達すると、ログインは [「セッションアイドル」] と示されます。

セッションがアイドル状態にあると示されると、すぐにGNOME電源マネージャが自身のシステムタイマーを起動します。 [GNOME電源マネージャの設定] で設定されたタイムアウト値に達し、CPUロードがアイドル状態にある場合は、アイドル時の動作(画面の電源オフ、コンピュータのサスペンドやハイバネーションなど)が実行されます。

これをもっとわかりやすくするため、 [GNOME電源マネージャの設定] 内のスライダをセッションタイムアウト値+1分で開始するように設定します。これは、 [GNOME電源マネージャの設定] は論理的にはセッションがアイドル状態にあると示されるまでトリガされないためです。 [スクリーンセーバの設定] でセッションアイドルタイムアウトを調整すると、 [GNOME電源マネージャの設定] の開始時間もそれに伴って変更されます。

図 2.10 [スクリーンセーバの設定] でのセッションアイドルタイムアウトの変更



スクリーンセーバの設定にアクセスするには、[コンピュータ] >> [他のアプリケーション] >> [システム] >> [スクリーンセーバ] の順にクリックします。詳細については、3.3.4頁「スクリーンセーバの設定」(63 ページ)を参照してください。

2.11 アーカイブの作成、表示、および解凍

アーカイブマネージャアプリケーション(ファイルローラとも呼ばれる)を使用して、アーカイブを作成、表示、変更、または展開することができます。アーカイブとは、他の複数のファイルを保管するためのコンテナとして使用するファイルです。アーカイブには多数のファイル、フォルダ、サブフォルダを、通常は圧縮形式で保存することができます。アーカイブマネージャアプリケーションは、zip、tar.gz、tar.bz2、lhz、rarなどの一般的な形式をサポートしています。アーカイブマネージャを使用して、圧縮された非アーカイブファイルを作成、オープン、および抽出することができます。

アーカイブマネージャを起動するには、[コンピュータ] >> [他のアプリケーション] >> [ユーティリティ] >> [ファイルローダ] の順にクリックします。圧縮ファイルがある場合は、Nautilusファイルマネージャ内でファイル名をダブルクリックし、アーカイブマネージャでアーカイブの内容を表示します。

☒ 2.11 アーカイブマネージャ



2.11.1 アーカイブを開く

- 1 アーカイブマネージャで [アーカイブ] >> [開く] の順にクリックします。
- 2 開きたいアーカイブを選択します。
- 3 [開く] をクリックします。

アーカイブマネージャがアーカイブタイプを自動的に判断し、次を表示します。

- ウィンドウタイトルバーにアーカイブ名。
- 表示エリア内にアーカイブの内容。

- ステータスバー内に、アーカイブ内のファイル数と解凍後のアーカイブサイズ。

別なアーカイブを開くには、[アーカイブ] >> [開く] の順に再度クリックします。アーカイブマネージャが新しいウィンドウに各アーカイブを開きます。同じウィンドウで別なアーカイブを開くには、[アーカイブ] >> [閉じる] の順にクリックして現在のアーカイブを閉じ、次に [アーカイブ] >> [開く] の順にクリックします。

アーカイブマネージャが認識できない形式で作成されたアーカイブを開こうとすると、アプリケーションによってエラーメッセージが表示されます。

2.11.2 アーカイブの作成

- 1 アーカイブマネージャで、[アーカイブ] >> [新規] の順にクリックします。
- 2 新しいアーカイブの名前と場所を指定します。
- 3 [アーカイブタイプ] ドロップダウンリストからアーカイブタイプを選択します。
- 4 [新規] をクリックします。

アーカイブマネージャは空のアーカイブを作成しますが、ディスクへのアーカイブ書き込みはまだ行いません。アーカイブマネージャは、アーカイブに少なくとも1つのファイルが含まれている場合にのみ新しいアーカイブをディスクに書き込みます。新しいアーカイブを作成し、アーカイブにファイルを追加する前にアーカイブマネージャを終了すると、アーカイブマネージャはそのアーカイブを削除します。

- 5 新しいアーカイブへのファイルとフォルダの追加:
 - 5a [編集] >> [ファイルの追加]、または [編集] >> [フォルダの追加] の順にクリックして追加するファイルまたはフォルダを選択します。
 - 5b [Add] をクリックします。

アーカイブマネージャがアーカイブ内の現在のフォルダにファイルを追加します。

アーカイブマネージャを開かなくても、ファイルマネージャ内でアーカイブにファイルを追加できます。詳細については、2.2.2項「フォルダのアーカイブ」(22 ページ)を参照してください。

2.11.3 アーカイブ内のファイルの展開

- 1 アーカイブマネージャ内で、展開するファイルを選択します。
- 2 [アーカイブ] >> [抽出] の順にクリックします。
- 3 アーカイブマネージャによってファイルを展開するフォルダを指定します。
- 4 次の展開オプションから選択します。

オプション	説明
すべてのファイル	アーカイブ内のすべてのファイルを展開します。
Selected files (選択したファイル)	選択したファイルをアーカイブから展開します。
ファイル	指定したパターンに一致するすべてのファイルをアーカイブから展開します。
Re-create folders (フォルダの再生成)	指定したファイルの展開時にフォルダ構造を作成し直します。

たとえば、[ファイル名] テキストボックスで、/tmpを指定し、すべてのファイルの展開を選択したとします。アーカイブにはdocと呼ばれるサブフォルダが含まれます。[Re-create folders (フォルダの再生成)] オプショ

オプション	説明
	<p>ンを選択すると、アーカイブマネージャはサブフォルダのコンテンツを/tmp/docに展開します。 [<i>Re-create folders</i> (フォルダの再生成)] オプションを選択しなかった場合は、アーカイブマネージャはサブフォルダを作成しません。この場合、アーカイブマネージャはサブフォルダ内のファイルを含むアーカイブ内のすべてのファイルを、/tmpに展開します。</p>
<p>既存のファイルへの 上書き</p>	<p>展開先のフォルダで指定したファイルと同じ名前のファイルがあれば上書きします。</p> <p>このオプションを選択していない場合は、展開先のフォルダに同じ名前のファイルが存在していれば、アーカイブマネージャは指定されたファイルを展開しません。</p>
<p>古いファイルは展開 しない</p>	<p>指定したファイルが展開先のフォルダに存在しない場合、または展開先のフォルダに含まれている指定ファイルの日付のほうが古い場合にのみ指定のファイルを展開します。アーカイブマネージャは変更日付を基に、最新のファイルを判断します。アーカイブ内のファイルが古い場合は、アーカイブマネージャは指定したファイルを展開先のフォルダに展開しません。</p> <p><i>[Overwrite existing files</i> (既存のファイルへの 上書き)] オプションを選択している場合にのみ、このオプションを使用できます。</p>
<p>[パスワード]</p>	<p>暗号化をサポートしているアーカイブタイプの場合にのみこのオプションが使用できます。現在、暗号化をサポートしているのは .zipおよび.arjアーカイブのみです。</p>

オプション	説明
展開後に展開先のフォルダを開く	<p>アーカイブに暗号化されたファイルが含まれている場合、必要なパスワードを [パスワード] フィールドに入力して、展開中に指定のファイルを復号化します。アーカイブの作成時に指定した暗号化パスワードの入力が必要です。</p> <p>指定したファイルの展開後、ファイルマネージャウィンドウに展開先のフォルダ内容を表示します。</p>

5 [抽出] をクリックします。

アーカイブ内のすべてのファイルがパスワードで保護されている場合(そしてパスワードを指定しなかった場合)、アーカイブマネージャがエラーメッセージを表示します。

アーカイブ内の一部のファイルがパスワードで保護されている場合(そしてパスワードを指定しなかった場合)、アーカイブマネージャはエラーメッセージを表示しません。ただし、アーカイブマネージャは保護されていないファイルだけを新しいアーカイブに展開します。

アーカイブマネージャを開かずに、ファイルマネージャウィンドウでアーカイブファイルを展開するには、ファイルを右クリックして [ここで展開] を選択します。

指定したファイルのコピーがアーカイブから展開されます。展開したファイルには、アーカイブに追加された元のファイルと同じ許可と変更日付が付与されます。

展開によってアーカイブの内容は変更されません。

2.12 スクリーンショットを撮る

[スクリーンショットの取得] ユーティリティで、画面や各アプリケーションウィンドウのスナップショットを取得することができます。印刷キーを押してデスクトップ全体のスクリーンショットを取得するか、**Alt** + 印刷キーを押して現在アクティブなウィンドウまたはダイアログボックスのスクリーンショットを取得します。[コンピュータ] >> [他のアプリケーション] >> [システム] >> [スクリーンショットの取得]の順に選択してアプリケーションを起動することもできます。

スクリーンショットを取得すると、[スクリーンショットの保存] ダイアログボックスが表示されます。スクリーンショットをイメージファイルとして保存するには、スクリーンショットのファイル名を入力して、ドロップダウンリストから保存先を選択します。

図 2.12 [スクリーンショットの保存] ダイアログボックス



また、GIMPを使用して、スクリーンショットを撮ることもできます。GIMPで[ファイル] >> [作成] >> [スクリーンショット]の順にクリックし、エリアを選択して遅延を選択し、[Snap (スナップ)]をクリックします。

2.13 PDFファイルの表示

プラットフォーム間で共有したり、印刷する必要があるドキュメントは、PDF(Portable Document Format)ファイルとして保存できます。SUSE Linux Enterprise DesktopにはEvince PDFビューワが同梱されています。

2.13 Evince PDFビューワ



Evinceを開くには、ファイルマネージャウィンドウ(またはWebサイト)でPDFファイルをクリックするか、**Alt + F2**キーを押して「evince」と入力し、**Enter**を押します。

PDFファイルを表示するには、**[ファイル] >> [開く]**の順にクリックして、目的のPDFファイルを探し、**[開く]**をクリックします。

このウィンドウの上部にあるナビゲーションアイコン、または左側のパネル内のサムネイルを使って、ドキュメント内を移動します。PDFドキュメントにブックマークが提供されている場合は、ビューアの左側のパネルでアクセスできます。

2.14 サウンドの制御

YaSTは自動的に、お使いのコンピュータのサウンドカードを識別、環境設定します。YaSTハードウェアモジュールを使って、サウンドカードを手動設定することもできます。サウンドカードを設定した後は、GNOMEボリュームコントロールミキサーを使ってサウンドのボリュームやバランスを調整できます。

GNOMEはデフォルトでPulseAudioサウンドサーバを使用します。PulseAudioによって、1つのGUIで異なるプログラムのオーディオ「ストリーム」を制御できます。これによって、たとえば異なるプログラムのオーディオ出力をヘッドフォンやスピーカーなどの別なデバイスに送信して、2つのプログラムのオーディオ出力を同時に再生することができます。

デスクトップのパネルにミキサーアイコン(スピーカーの形)が表示されていない場合は、Alt+F2キーを押してからgnome-volume-controlと入力するか、または [コンピュータ] >> [他のアプリケーション] >> [オーディオ&ビデオ] >> [音量コントロール] の順にクリックします。

ミキサーアイコンを左クリックしてスライダを上下に移動すると、全体の音量が変更できます。右クリックして [Open Volume Control (音量コントロールを開く)] を選択すると、詳細な設定ダイアログが表示されます。

図 2.14 [GNOME Volume Control] ダイアログボックス



GNOMEの [音量コントロール] ダイアログボックスには、次のタブが含まれています。

再生

現在アクティブなすべての再生ストリームが表示されます。ストリームの音量を調節、またはミュートにすることができます。ストリームを右クリックして終了するか、別なサウンドデバイス(使用可能な場合)に移動することができます。

レコーディング

現在録音中のアプリケーションが表示されます。右クリックして録音するストリームを選択します。

Output Devices (出力デバイス)

出力デバイスを一覧表示します。デバイスを右クリックして、デフォルトの出力デバイスにします。

Input Devices (入力デバイス)

入力デバイスを一覧表示します。デバイスを右クリックして、デフォルトの入力デバイスにします。

2.15 指紋リーダーの使用

システムに指紋リーダーが搭載されている場合、ユーザは指紋リーダーに指紋を読み取らせるか、またはパスワードを入力してシステムにログインします。詳細については、第7章 *Using the Fingerprint Reader* (↑*Security Guide* (セキュリティガイド))を参照してください。

2.16 ソフトウェアアップデートの取得

インターネットに接続すると、openSUSE Updaterがシステムのソフトウェア更新の有無を確認します。パネルのシステムトレイ内のopenSUSE Updaterアプレットによって更新の存在が通知されるので、ユーザは何度かクリックするだけで更新を簡単にインストールすることができます。アプレットアイコンは、システムで使用可能な更新の有無によって色や外観が変わります。

openSUSE Updaterでのソフトウェア更新方法とopenSUSE Updaterの設定方法の詳細については、「項「Keeping the System Up-to-date」(第6章 *Installing or Removing Software*, ↑*Deployment Guide* (導入ガイド))」のソフトウェアのインストールと削除に関する章を参照してください。

2.17 詳細情報

この章で説明された基本的なアプリケーションのほかに、GNOMEではたくさん
のアプリケーションを実行できます。これらの重要なアプリケーションに
関する詳細情報については、このマニュアル内の他の部分と「アプリケーショ
ンガイド(↑アプリケーションガイド)」を参照してください。

GNOMEおよびGNOMEアプリケーションの詳細については、「<http://www.gnome.org>」と「<http://gnomefiles.org>」を参照してください。

バグレポートや機能要求の追加を行うには、<http://bugzilla.gnome.org>
を参照してください。



3

設定のカスタマイズ

自分の個人的な好みや必要に応じて、GNOMEデスクトップの見かけや動作を変更できます。次のような設定が変更できます。

- キーボードとマウスの設定(「3.2.1項 「キーボードの初期設定の変更」 (54 ページ)」および「3.2.2項 「マウスの設定」 (55 ページ)」に記載)
- デスクトップの背景(「3.3.1項 「デスクトップの背景の変更」 (60 ページ)」に記載)
- スクリーンセーバー(「3.3.4項 「スクリーンセーバの設定」 (63 ページ)」に記載)
- パスワード(「3.4.1項 「パスワードを変更する」 (81 ページ)」に記載)
- サウンド(「3.5.10項 「サウンド環境設定の実行」 (92 ページ)」に記載)

これらの設定やその他の設定はコントロールセンターで変更できます。

3.1 コントロールセンター

コントロールセンターにアクセスするには [コンピュータ] > [コントロールセンター] をクリックします。コントロールセンターは次の4つのカテゴリに分かれています。

ハードウェア

グラフィックカード、モニタ、プリンタ、キーボードレイアウトなど、ハードウェアコンポーネントを設定し、ネットワークデバイスを設定し、ネットワーク接続を設定できます。詳細については、3.2項「ハードウェア」(54 ページ)を参照してください。

外観

デスクトップの背景、スクリーンセーバー、およびデスクトップに表示するフォントに関する設定があります。テーマ、ウィンドウの動作、およびメニュー、スクロールバーなどのデスクトップ要素のスタイルを変更することができます。ここでは、3Dデスクトップ効果(Compiz)も設定できます。詳細については、3.3項「外観」(60 ページ)を参照してください。

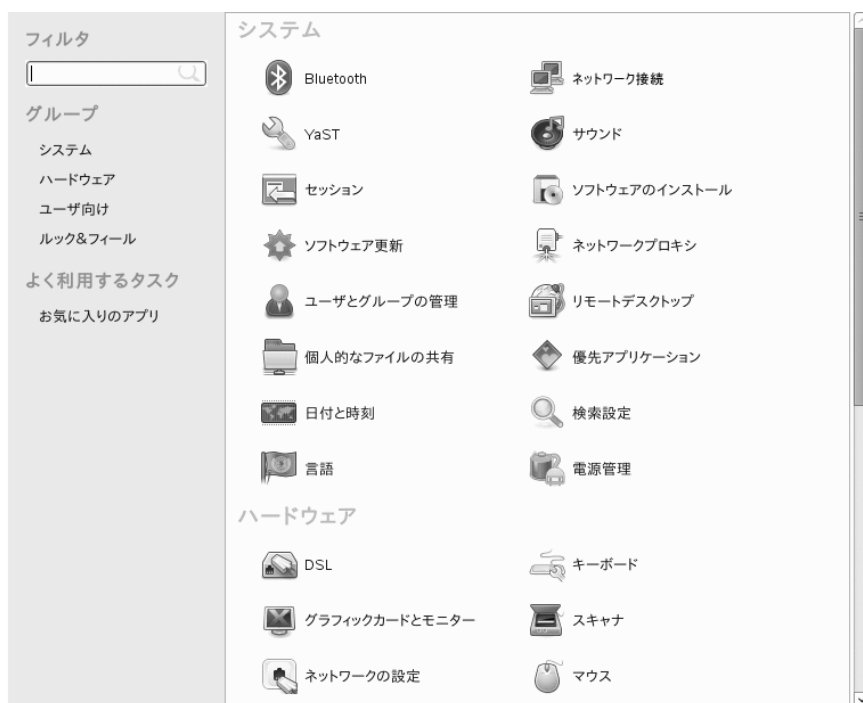
個人用

ここでは、ログインパスワードを変更したり、キーボードショートカットまたはキーボードアクセス補助設定を設定したりします。詳細については、3.4項「個人用」(81 ページ)を参照してください。

システム

日付と時刻、言語、サウンド、電源管理などのシステム設定を設定できます。GNOMEでログインまたはシャットダウンのセッションを処理する方法を定義し、Beagle検索設定を変更します。詳細については、3.5項「システム」(82 ページ)を参照してください。

図 3.1 GNOMEコントロールセンター



システム全体の設定を変更するため、コントロールセンターではルートパスワードを入力してYaSTを起動するように要求されます。これは、ハードウェア、グラフィカルユーザインタフェース、インターネットアクセス、セキュリティ設定、ユーザ管理、ソフトウェアのインストール、システムアップデートおよび情報などの管理者設定が当てはまります。YaSTの指示に従ってこれらの設定を設定します。YaSTの使用の詳細については、統合されたYaSTヘルプテキストまたは*Deployment Guide (導入ガイド)* ([↑Deployment Guide \(導入ガイド\)](#))を参照してください。

この章では、GNOMEコントロールセンターで直接(YaSTを使わずに)変更できる、個々の設定について説明します。

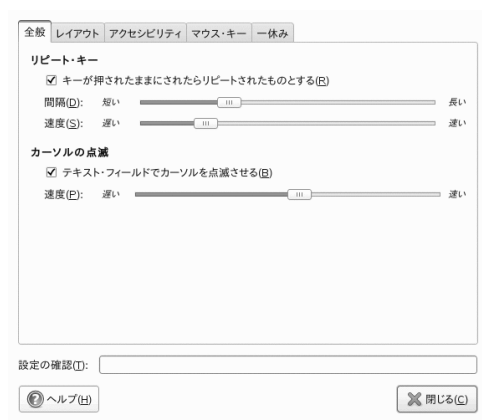
3.2 ハードウェア

以下のセクションでは、キーボードやマウスの初期設定などのGNOMEデスクトップのハードウェア部分を設定し、リムーバブルドライブ(およびその他のメディア)、画面解像度を処理する例を紹介します。

3.2.1 キーボードの初期設定の変更

自動繰り返しの初期設定または入力中断セッションなどのキーボード設定の一部を変更するには、[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ハードウェア] > [キーボード] をクリックします。

図 3.2 [Keyboard Preferences] ダイアログ



- 1 [キーボード] タブで、個別の遅延を伴うキーボードの繰り返し入力の有効化と速度オプション、カーソルの点滅の有効化と無効化、速度の定義など、一般的なキーボード設定の一部を設定できます。それぞれのオプションの詳細については、[Help] をクリックしてください。
- 2 キーボードモデルを選択するには、[レイアウト] タブをクリックし、[キーボードモデル] リストからモデルを選択します。
- 3 新しい言語レイアウトを追加するには、[Add] をクリックしてリストに追加する言語レイアウトを選択します。さまざまなロケールに合わせ

て異なったレイアウトを選択できます。デフォルトとしてレイアウトを1つ選択します。

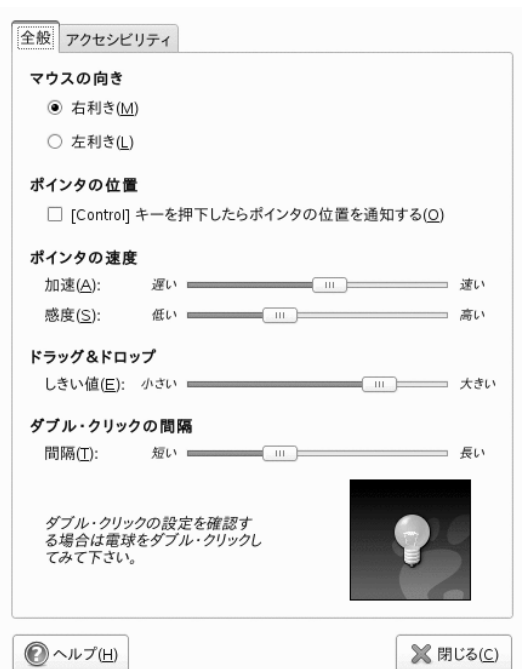
- 4 [入力休憩] タブで、入力中断の初期設定を設定できます。それぞれのオプションの詳細については、[ヘルプ] をクリックしてください。
- 5 すべてのオプションが希望どおりに設定されたら、[閉じる] をクリックします。

キーボードアクセス性オプションの設定については、利用しやすいキーボードの設定項 (100 ページ) を参照してください。

3.2.2 マウスの設定

マウスオプションを変更するには、[コンピュータ] > [コントロールパネル] > [ハードウェア] > [マウス] をクリックして、[マウスの初期設定] を開きます。

図 3.3 [マウスの初期設定] ダイアログ



- 1 [一般] タブは、いくつかのセクションから構成されます。[マウスの向き] セクションでラジオボタンを使用して、マウスボタンを左利き用または右利き用に設定します。
- 2 [一般] タブの [ポインタを探す] セクションでオプションをチェックすると、Ctrlを押して離れたときのマウスポインタアニメーションが有効になります。この機能は、マウスポインタの位置を探すのに便利です。
- 3 [一般] タブの [最大ポインタ速度] セクションのスライダを使用して、マウスポインタの [アクセラレーション] および [感度] を定義します。
- 4 [全般] タブの [ドラッグアンドドロップ] セクションでスライダを使用して、操作がドラッグアンドドロップ操作として解釈されるためにポインタにより項目を移動する必要がある距離を変更します。

- 5 [一般] タブの [ダブルクリックタイムアウト] セクションのスライダを使用して、ダブルクリックの2回のクリック間の最大遅延を定義します。2回のクリックの間隔がここで指定した間隔より大きい場合、ダブルクリックではなく、2回の別個のクリックとして操作が解釈されます。電球アイコンを使用してダブルクリックの感度をチェックします。1回のクリックでは一時的に点灯しますが、ダブルクリックでは点灯し続けます。
- 6 すべてのオプションが希望どおりに設定されたら、[閉じる] をクリックします。

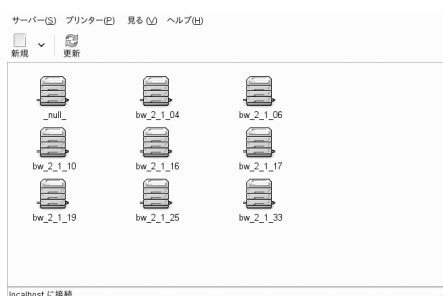
マウスアクセス性オプションの設定については、4.2.1項「同様に、片手しか使用できない人もキーボードやマウスの操作に苦労します。」(99 ページ)を参照してください。

3.2.3 プリンタのインストールと設定

印刷モジュールでは、使用可能なローカルサーバまたはリモートCUPSサーバに接続し、プリンタを設定できます。

- 1 プリンタモジュールを起動するには、[コンピュータ]、> [コントロールセンター]、> [ハードウェア]、> [プリンタ] の順にクリックします。
- 2 接続しているCUPSサーバがステータスバーに表示されます。異なるCUPSサーバに接続するには、[サーバ] > [接続] をクリックし、CUPSサーバのURLを入力し、[接続] を押します。サーバで使用可能なプリンタがメインウィンドウに表示されます。[更新] ボタンにより、使用可能なプリンタのリストを更新します。
- 3 新しいプリンタを追加するには、[ツールバー] の [新規] を押し、設定ウィザードに従います。
- 4 プリンタのプロパティを設定するには、デフォルトプリンタとして設定するか、またはプリントキューを表示し、プリンタのアイコンを右クリックしてメニューから適切なオプションを選択します。

図 3.4 [プリンタ環境設定] ダイアログ



詳細については、第7章 **プリンタの管理** (127 ページ)を参照してください。

3.2.4 画面の設定

解像度、画面の更新レートと向き、または複数画面を指定するには、**[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ハードウェア] > [画面解像度]** をクリックし、オプションを変更します。

- 1 **[Detect Displays(ディスプレイの検出)]** を押し、コンピュータに接続するすべてのモニタを検出します。
- 2 モニタのオプションを設定するには、青いプレビュー領域でモニタのアイコンをクリックし、下にあるドロップダウンリストを使用して **[解像度]**、**[更新レート]**、および **[回転]** (向き)を設定します。
- 3 複数のモニタを使用している場合、青いプレビュー領域のアイコンを適切な場所にドラッグすることにより、対応する場所を設定できます。また、**[ミラー画面]** をチェックすることにより、同じイメージを表示するようにモニタを設定できます。
- 4 画面を回転できるアプレットアイコンをシステムトレイに表示するには、**[ディスプレイをパネルに表示する]** をチェックします。

図 3.5 [Monitor Resolution Settings(解像度設定の監視)] ダイアログ



画面の回転のサポートについて詳細は、項「Rotating Your Display」(第18章 Using Tablet PCs, ↑管理ガイド)を参照してください。

3.2.5 タッチパッドの設定

タッチパッドモジュールは、タッチパッドの動作を設定する場合に使用します。このモジュールは、ラップトップコンピュータなどの、タッチパッドのあるコンピュータでのみ利用できます。通常は、デフォルトの動作を変更しないでください。[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ハードウェア] > [タッチパッド] をクリックし、タッチパッドモジュールを開始します。これにより、タッチパッドの有効化または無効化、感度、タッピング、およびスクロールの操作の設定を行うことができます。このモジュールではまた、マウスポインタのアクセラレーションを制御します。

3.3 外観

以下のセクションでは、デスクトップ背景とスクリーンセーバー、3Dデスクトップ効果、テーマ、ウィンドウの動作、メニューなど、GNOMEデスクトップの外観の一部を設定する例を紹介します。

3.3.1 デスクトップの背景の変更

デスクトップの背景とは、デスクトップに適用された画像またはカラーです。デスクトップの背景は、次の方法でカスタマイズできます。

- デスクトップの背景の画像を選択します。画像は、デスクトップの背景の色の上に重なります。デスクトップの背景の色は、透明な画像を選択した場合や、画像がデスクトップ全体を覆っていない場合に表示されます。
- デスクトップの背景の色を選択します。単色を選択するか、2色を選択してグラデーション効果を出すこともできます。グラデーション効果は、1つの色がもう1つの色と徐々に混ざり合う視覚効果です。

デスクトップの環境設定を変更するには、次の手順に従います。

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ルックアンドフィール] > [外観] > [デスクトップの背景] をクリックします。



- 2 背景の画像を変更するには、リストから**壁紙**を1つ選択し、デスクトップに画像を配置するスタイルを選択します。デスクトップは、すぐに新しい設定での表示に更新されます。
- 3 カスタム画像を使用するには、**[追加]** をクリックしてファイルシステムからイメージファイルを選択します。
- 4 背景に画像を表示しない場合は、**[壁紙]** リストから **[壁紙なし]** を選択し、**[色]** ドロップダウンリストとカラーセクタボタンのオプションを使用して、カラスキーマを指定します。デスクトップは、すぐに新しい設定での表示に変わります。
- 5 選択を確認して **[閉じる]** をクリックします。

3.3.2 フォントの設定

アプリケーション、ウィンドウ、ターミナル、デスクトップで使用するフォントを選択するには、**[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ルックアンドフィール] > [外観] > [フォント]** をクリックします。

☒ 3.6 フォントの環境設定ダイアログ



ダイアログの上部には、アプリケーション、ドキュメント、デスクトップ、ウィンドウタイトルのフォント、およびターミナル用固定幅フォントが表示されます。いずれかのボタンをクリックして選択ダイアログを開くと、フォントファミリー、スタイル、およびサイズを設定できます。それぞれのオプションの詳細については、**[Help]** をクリックしてください。

[レンダリング] セクションで、画面上でフォントをレンダリングする方法を指定できます。[モノクロ] (スムージングを適用しないモノクロレンダリング)、[Best Shapes(形状を最高に設定)] (正確な文字形状に対して最適化されたレンダリング)、[Best Contrast(コントラストを最高に設定)] (高いコントラストに対して最適化されたレンダリング)、および [Subpixel Smoothing(サブピクセルスムージング)] (LCDサブピクセル構造を利用)の4つの基本オプションがあります。[詳細] をクリックした後、表示解像度、スムージング、ヒント、およびサブピクセルの順序に関する詳細なオプションを設定できません。

3.3.3 メニューとツールバーの設定

メニューとツールバーの外観と動作を設定することができます。[コンピュータ]、> [コントロールセンター]、> [ルックアンドフィール] > [外観] > [インタフェース] をクリックします。

メニューにアイコンを表示する場合は、[メニューにアイコンを表示] を選択します。メニュー項目によっては、アイコンがないものもあります。

メニュー項目に対して新しいキーボードショートカットを定義する場合は、[編集可能メニューショートカットキー] を選択します。このオプションを有効にすると、変更するメニュー項目の上にマウスポインタを移動してから、新しいキーの組み合わせを押すことにより、アプリケーションのショートカットキーを変更することができます。ショートカットキーの組み合わせを削除するには、目的のメニュー項目上にマウスポインタを移動してから、←キーまたはDelキーを押します。

重要項目: 新しいキーボードの組み合わせはデフォルトを変更できます

以前に他に割り当てたキーボードの組み合わせを新たに割り当てても、警告は表示されません。この場合、前に割り当てられている項目のショートカットキーは削除され、新しい方に置換されます。デフォルトのキーボードショートカットに自動的に復元する手段はありません。キーボードショートカットを、手作業で割り当てなおす必要があります。

この機能では、コピー用のCtrl + Cキーなど、標準的にすべてのアプリケーションに割り当てられているショートカットでも維持されません。そのため、GNOMEアプリケーションに不整合が生じる可能性があります。

GNOME 準拠アプリケーションへの、ツールバーボタンラベルの表示方法を指定するには、以下のいずれかのオプションを選択します。

アイコン下にテキスト

各ボタンのアイコンの下にアイコンラベルを表示します。

Text beside icons

アイコンをツールバーに表示し、重要なアイコンの横にテキストを表示します。

アイコンのみ

アイコンのみを表示します。テキストラベルは表示しません。

テキストのみ

各ボタンにテキストラベルを表示します。アイコンは表示しません。

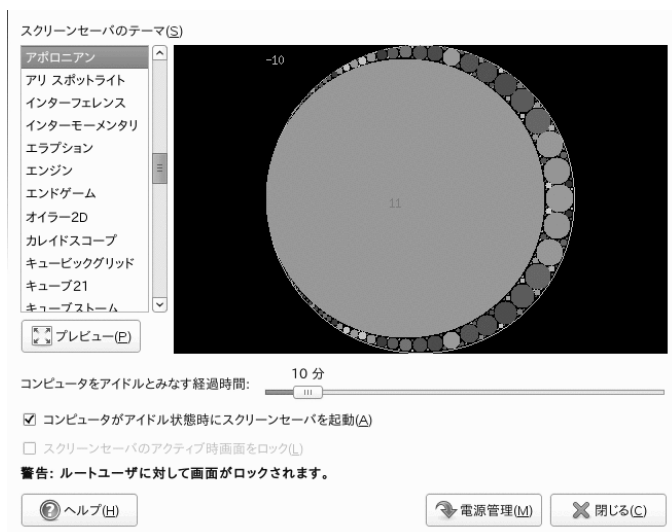
ダイアログに選択したオプションのプレビューが表示されます。

3.3.4 スクリーンセーバの設定

スクリーンセーバは、コンピュータが一定時間使用されていないときに、画面をブランクにするか、グラフィックを表示するプログラムです。スクリーンセーバは本来、画像の焼き付きからモニタを保護するために使用されていましたが、今では、主にエンターテイメントやセキュリティのために使用されています。

スクリーンセーバを設定するには、[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ルックアンドフィール] > [スクリーンセーバ] をクリックします。

図 3.7 スクリーンセーバ環境設定ダイアログ



左のリストから、好みのスクリーンセーバのテーマを選択します。または、[ランダム]を選択してスクリーンセーバを無作為に選択するか、[ブランク画面]のみを選択します。現在選択されているスクリーンセーバのプレビューが右側に表示されます。また、[プレビュー]ボタンを押すことにより、全画面モードで選択したスクリーンセーバをテストできます。

スライダを使用して、スクリーンセーバが有効になるまでにコンピュータが待機する時間を指定します。指定した時間の後にスクリーンセーバを有効にする場合は、[コンピュータがアイドル状態時にスクリーンセーバを起動]チェックボックスをチェックする必要があります。また、スクリーンセーバが有効になったときに画面を自動的にロックする場合は、[スクリーンセーバのアクティブ時画面をロック]チェックボックスをチェックする必要があります。

3.3.5 テーマの選択

テーマとは、デスクトップの各部の外観を指定する、体系的な設定のグループです。テーマを選択してデスクトップの外観を変更できます。[外観]ツールの[テーマ]タブを使用して、事前にインストールされたテーマのリスト

からテーマを選択します。利用可能なテーマには、アクセス補助の必要なユーザ向けのテーマも含まれています。

テーマを設定するには、[コンピュータ]、> [コントロールセンター]、> [ロックアンドフィール]、> [外観] > [テーマ] をクリックします。

デスクトップとアプリケーションの基本的な外観とカラー設定は、テーマを使用して制御されます。プリインストールされたさまざまなテーマから選ぶことができます。リストからスタイルを選択すると、自動的に適用されます。

[Customize(カスタマイズ)] で開く別のダイアログで、ウィンドウの内容、ウィンドウの境界、およびアイコンなど、デスクトップ要素のスタイルをカスタマイズできます。変更を行い、[閉じる] をクリックしてダイアログを終了させると、テーマがカスタムテーマに切り替わります。[Save Theme] をクリックして、カスタム名で変更したテーマを保存します。インターネットやその他のソースでは、.tar.gzファイルとして、GNOME用の追加テーマが数多く提供されています。これらは [インストール] でインストールします。

[Customize Theme(テーマのカスタマイズ)] ダイアログには次のタブとオプションが存在します。

コントロール

テーマ用のコントロール設定は、ウィンドウ、パネル、およびアプレットの外観を決定します。また、ウィンドウ、パネル、およびアプレットに表示されるGNOME準拠インタフェース項目(メニュー、アイコン、ボタンなど)の外観も決定します。使用できるコントロール設定のオプションの一部は、特別なアクセス補助の要件を満たすように設計されています。

[Customize Theme(テーマのカスタマイズ)] ダイアログの [コントロール] タブで変数の設定を選択できます。

Colors

[Customize Theme(テーマのカスタマイズ)] ダイアログの [色] タブで、ウィンドウのテキストの色、入力ボックス、選択した項目、およびツールヒント(およびテキストの背景色)を設定できます。

ウィンドウ境界

テーマのウィンドウ境界設定は、ウィンドウ境界(ウィンドウ装飾)を決定します。[Customize Theme(テーマのカスタマイズ)] ダイアログの [ウィンドウ境界] タブでウィンドウ境界の設定を選択できます。

アイコン

テーマのアイコン設定は、パネルおよびデスクトップ背景のアイコンの外観を決定します。 [Customize Theme(テーマのカスタマイズ)] ダイアログの [アイコン] タブでアイコンの設定を選択できます。

ポインタ

マウスポインタのスタイルおよびサイズは、 [Customize Theme(テーマのカスタマイズ)] ダイアログの [Pointer(ポインタ)] タブで設定できます。

手順 3.1 カスタムテーマの作成

テーマの環境設定ツールに一覧表示されるテーマでは、コントロール設定、ウィンドウフレームオプション、およびアイコンオプションのさまざまな組み合わせが提供されています。さまざまなオプションの組み合わせでカスタムテーマを作成できます。カスタムテーマを作成するには、次の手順に従います。

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ルックアンドフィール] > [外観] > [テーマ] をクリックします。
- 2 リストからテーマを選択し、 [カスタマイズ] をクリックします。
- 3 [コントロール] タブページのリストから、カスタムテーマで使用するコントロールオプションを選択します。
- 4 [色] タブをクリックし、インタフェースのウィンドウ、入力ボックス、テキスト、その他の部分で使用する色を選択します。一部のコントロールテーマでは、カスタム色の設定がサポートされません。
- 5 [ウィンドウ境界] タブをクリックして、カスタムテーマに使用するウィンドウフレームオプションを選択します。
- 6 [アイコン] タブをクリックして、カスタムテーマに使用するアイコンオプションを選択します。
- 7 [ポインタ] タブをクリックして、カスタムテーマに使用するマウスポインタオプションを選択します。
- 8 [閉じる] > [名前を付けて保存] の順にクリックします。
[テーマの保存] ダイアログが表示されます。

- 9 ダイアログに名前とカスタムネームの短い説明を入力して、[保存] をクリックします。カスタムテーマが、利用可能なテーマのリストに表示されます。

手順 3.2 新しいテーマのインストール

利用可能なテーマのリストにテーマを追加できます。新しいテーマは、圧縮されたアーカイブファイル(.tar.gzファイル)であることが必要です。

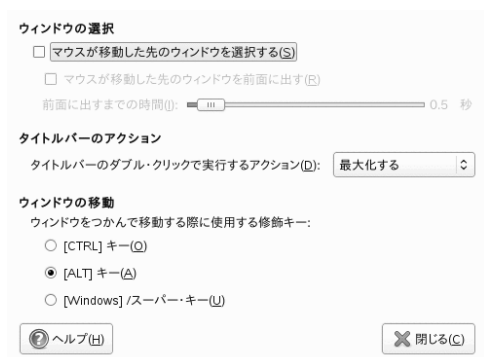
- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ルックアンドフィール] > [外観] > [テーマ] をクリックします。
- 2 [インストール] をクリックします。
- 3 ファイルを選択して、[開く] をクリックします。
- 4 新しいテーマを適用する場合は、直ちに [Apply New Theme(新しいテーマの適用)] をクリックします。また、[Keep Current Theme(現在のテーマを維持)] を使用することもできます。

3.3.6 ウィンドウの動作のカスタマイズ

ウィンドウの環境設定ツールを使用して、デスクトップのウィンドウの動作をカスタマイズします。マウスポインタを置いたときや、タイトルバーをダブルクリックしたときのウィンドウの反応を指定したり、アプリケーションウィンドウを移動させるときに保持するキーを定義できます。

ウィンドウの動作をカスタマイズするには、[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ルックアンドフィール] > [ウィンドウ] をクリックします。

図 3.8 ウィンドウの環境設定ダイアログ



複数のアプリケーションウィンドウがデスクトップにある場合、デフォルトで最後にクリックしたウィンドウがアクティブになっています。[*Select Windows When the Mouse Moves over Them*] を有効にして、この動作を変更します。[*Raise Selected Window after an Interval(一定間隔の後選択したウィンドウを上)*] を有効にして、スライダーで待ち時間を調整します。この設定で、選択したウィンドウはすぐ上になります。

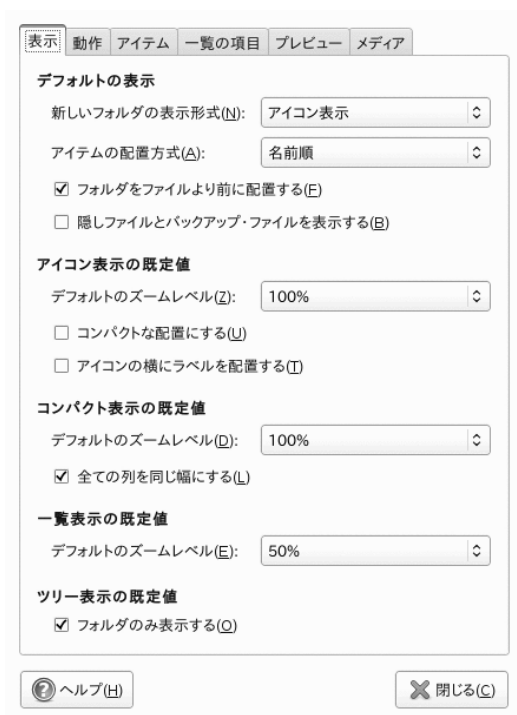
[*タイトルバーアクション*] で、ウィンドウのタイトルバーをクリックしたときに実行される処理を指定できます。ドロップダウンリストから目的のアクションを選択します。可能な操作には、ウィンドウの最小化、一方向または両方向へのウィンドウの最大化、タイトルバーのみを残したロールアップなどがあります。タイトルバーのデフォルトの動作では、両方向に最大化します。

ラジオボタンを使用して、ウィンドウの移動に使用するモディファイアキーを選択します(Ctrl、Alt、またはWindowsキー)。

3.3.7 ファイル管理の初期設定の指定

ファイル管理初期設定には、GNOMEファイルマネージャNautilusの設定と、リムーバブルメディアの処理に関する設定が含まれます。[*コンピュータ*] > [*コンピュータセンター*] > [*ロックアンドフィール*] > [*ファイル管理*] をクリックするか、またはNautilusから直接 [*編集*] > [*設定*] をクリックすることにより、コントロールセンターの初期設定にアクセスできます。

図 3.9 ファイルマネージャの設定



- 1 [表示] タブで、さまざまなNautilusビューに対するオプションを定義します。たとえば、Nautilusで隠しファイルおよびバックアップファイルを表示するかどうかを選択します。
- 2 [動作] タブで、さまざまなオプションを定義します。たとえば、シングルマウスクリックまたはダブルマウスクリックでNautilusのファイルまたはフォルダを開いたり、ファイルシステムのファイルまたはフォルダをごみ箱に移動するのではなく直接削除する [削除] メニュー項目をNautilusに含めたりできます。
- 3 [ディスプレイ] タブで、Nautilusの日付フォーマットとアイコンキャプションの表示方法を設定します。
- 4 [List Columns(カラムのリスト)] タブに切り替え、Nautilusに表示するカラムとその表示順序を設定します。

- 5 [プレビュー] タブをクリックし、Nautilusでプレビューを表示するファイルと、フォルダに含まれる項目の数を表示するかどうかを指定します。
- 6 [メディア] タブをクリックし、音楽CD、ビデオDVD、空のディスク、メディアプレーヤ、デジタルカメラ、その他のデバイスなど、メディアが接続したときに常に自動的に実行する処理を指定します。一般に、接続時にデバイスの動作を変更しない場合は、この設定を変更する必要はありません。デバイスを初めて接続するときや、デバイスが予期しない動作をしたり、期待通りに動作しない場合は、特定のデバイスの設定を変更してください。
- 7 使用可能なオプションの詳細については、[ヘルプ] をクリックしてください。
- 8 変更を適用するには、[閉じる] をクリックします。

3.3.8 デスクトップ機能のロック

SUSE Linux Enterprise Desktopには、特定のデスクトップ機能を無効(ロックダウン)するグラフィカルなロックダウンエディタ(pessulusパッケージ)が付属しています。これは、ユーザがコンピュータ上で実行できる操作を制限する場合に役立ちます。たとえば、トレードショーにコンピュータを出展し、誰もが操作できるようにした場合は、コマンドラインでの操作を無効にした方が安全です。

pessulusパッケージがすでにインストールされている場合は、メインメニューから [コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ロックアンドフィール] > [ロックダウンエディタ] を選択するか、またはAlt + F2を押してpessulusを入力することにより、ロックダウンエディタを起動します。

図 3.10 一般的なロックダウンエディタ設定



ロックダウンエディタが起動すると、GConfの必須設定ソース(xml:merged:\$prefix/etc/gconf/gconf.xml.mandatory)への接続を試みます。rootとしてpessulusを実行した場合、この設定ソースにアクセスでき、各設定のチェックボックスの隣りに錠のアイコンが表示されます。設定が必須かどうか指定するために錠をクリックします。設定が必須である場合、通常のユーザは設定を変更または一時変更することはできません。必須の設定ソースにアクセスできない場合は、錠のアイコンは表示されません。この場合、無効な設定はすべてユーザのデフォルトの設定ソースに保存され、後でgconf-editorやgconftool-2などの他のツールを使用して変更できます。GConfおよび必須設定ソースの詳細については、『GNOME Desktop System Administration Guide(GNOMEデスクトップシステム管理ガイド)』の「Using GConf(GConfの使用)」 [<http://library.gnome.org/admin/system-admin-guide/stable/>] を参照してください。

無効にすることが可能なこのカテゴリの設定を表示するには、左側のカテゴリをクリックします。

- 1 コマンドライン、ディスクへの保存、および印刷へのアクセスを無効にするには(または、ユーザが印刷設定を変更できないようにするには)、**[一般]** カテゴリの関連オプションを設定します。
- 2 **[パネル]** カテゴリのオプションを使用して、パネルをロックし、指定するパネルアプレットの無効化と、強制終了、ロック画面、ログアウトオプションの無効化を行うことができます。
- 3 **[Epiphany Web Browser(Epiphany Webブラウザ)]** カテゴリのオプションを使用して、Epiphanyの機能へのアクセスを制御します。
- 4 **[GNOME Screensaver(GNOMEスクリーンセーバ)]** カテゴリでオプションを使用して、(スクリーンセーバのアクティブ時の)画面のロック、(**[unlock(ロック解除)]** ダイアログボックスの **[delay(遅延)]** オプション後の)ログアウトの有効化または無効化、および **[unlock(ロック解除)]** ダイアログボックスの **[ユーザの切り替え]** オプションの有効化または無効化を行うことができます。
- 5 各カテゴリの使用可能なオプションの詳細については、**[ヘルプ]** をクリックしてください。
- 6 必要なすべてのオプションを設定したら、**[閉じる]** をクリックして変更を適用します。

3.3.9 メインメニューのカスタマイズ

メインメニューツールを使用して、伝統的なGNOMEメインメニューをカスタマイズします。伝統的なGNOMEメニューはデフォルトで有効になりませんが、右クリックして **[パネルに追加]** > **[従来のメインメニュー]** > **[追加]** > **[閉じる]** を選択することにより、GNOMEパネルに追加できます。従来のGNOMEメインメニューをカスタマイズするには、**[コンピュータ]** > **[コントロールセンター]** > **[ロックアンドフィールド]** > **[メインメニュー]** を使用します。

図 3.11 メインメニューエディタ



現在のメインメニューのサブメニューがメインウィンドウの左側に表示され、選択したサブメニューに属する項目が右側に表示されます。サブメニューのグループがそのサブメニューの下にネストされます。項目を検索するには、[メニュー] リストのサブメニューの隣にある矢印をクリックし、その項目を含むグループを選択し、[項目] リストで項目を検索します。

注意: メインメニューの変更の影響

メインメニューに加えた変更は、以降のシステムの更新時に上書きされません。最新のメニュービューが生成された後、変更が適用されます。

手順 3.3 メインメニューの編集

メインメニューに項目を表示する順序の変更、メニュー項目の名前の変更、メニュー項目の表示または非表示、メニューからの項目の削除、新しいメニュー項目の追加を行うことができます。たとえば、頻繁に使用するアプリケーションを見つけやすくするために、メニューまたはグループの最上部にアプリケーションに配置した方がよい場合があります。アプリケーションのインストール時に、メインメニューに新しい項目を追加できます。これは、メニュー上で現在表示されていない他のアプリケーションが存在する場合に役立ちます。また、ディレクトリ、リンク、その他の種類の項目をメニューに追加できます。

- 1 メニュー項目を移動するには、右の [項目] リストでメニュー項目をクリックし、メニューの新しい場所にドラッグします。同じメニュー内の新しい場所に項目を移動するか、または(新しいメニューまたはグループに移動するために) [メニュー] リストの項目にドロップできます。
[Move Up(上に移動)] および [Move Down(下に移動)] ボタンを使用して、メニュー内の項目の場所を変更します。
- 2 既存のメニュー項目の名前を変更するには、[項目] リストの項目を右クリックし、[プロパティ] を選択し、新しい名前を入力します。
- 3 項目を非表示にするには(したがって、メニューにその項目が表示されなくなります)、[項目] リストの項目の隣にあるチェックボックスをオフにします。チェックボックスが有効な場合、その項目がメニュー内で現在表示されていることを示します。項目を非表示にしても、項目は依然として [項目] リストに維持されており、いつでもメニューに再表示できます。
- 4 [項目] リストから項目を削除するには、項目を右クリックし、[削除] をクリックします。メニューで削除した項目を再表示するには、新しいアプリケーションの場合と同様にその項目を追加する必要があります。
- 5 新しい項目を追加するには、次の手順に従います。
 - 5a [メニュー] リストで、アプリケーションを追加するグループを含むメニューの隣の矢印をクリックし、グループを選択します。[項目] リストに、グループの内容が表示されます。
 - 5b [新しい項目] をクリックし、追加するメニュー項目の種類を選択します。たとえば、アプリケーションを追加するには、[アプリケーション] を選択します。
 - 5c [参照] をクリックし、追加する項目を選択します。
 - 5d 新しいメニュー項目の名前を入力します。
 - 5e マウスポインタを合わせたときにメインメニューに簡単な説明を表示する場合は、[コメント] フィールドにその記述を入力します。

5f 新しい項目にアイコンを割り当てる場合は、左側のイメージフレームをクリックし、項目のアイコンを選択します。アイコンを選択しない場合は、メニューにアイコンなしで項目が表示されます。

6 デフォルトのメニューレイアウトを復元する場合は、`[Revert(復元)]` をクリックします。

7 必要なすべてのオプションを設定したら、`[閉じる]` をクリックして変更を適用します。

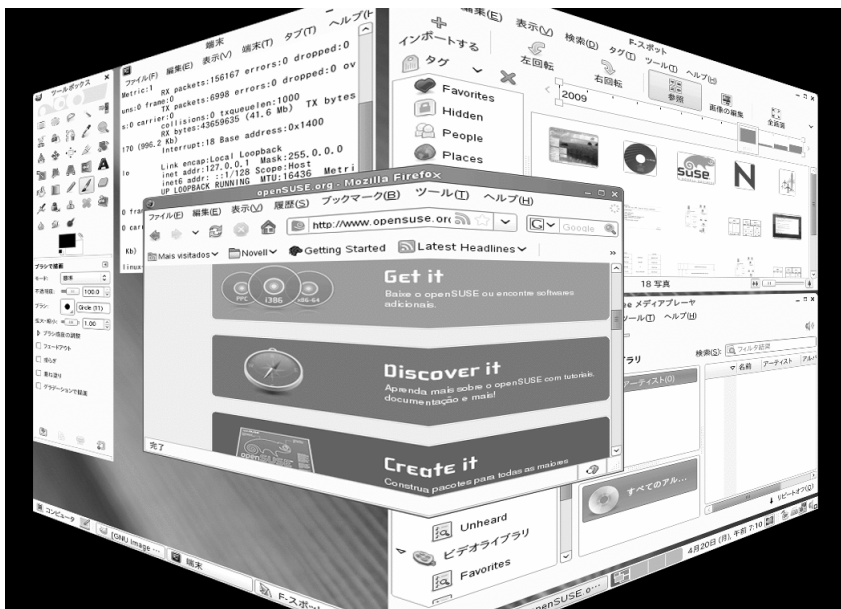
注意

最初にメインメニューアプリケーションを使用してメニューを編集した場合は、次のログイン時まで変更は有効になりません。以降の変更は、直ちに反映されます。

3.3.10 デスクトップ効果の設定

Compizは、ウィンドウ管理で高速なコンポジットデスクトップ効果を適用するために3Dグラフィックスハードウェアを使用するXウィンドウシステム用のコンポジットウィンドウマネージャです。効果は、ロード可能なプラグインとして実装されます。Compizにより、デスクトップを回転する3Dキューブに変換し、ウィンドウを重ならないように並べ、サムネイルを見ながらタスクを切り替えることができます。ウィンドウを半透明または透明にしたり、デスクトップ画面を拡大、縮小したり、シャドウ、フェーディング、およびトランスフォーメーションなどのウィンドウ効果を使用することができます。また、ウィンドウの移動時に他のウィンドウや画面の端に合わせるように設定することもできます。

図 3.12 3Dデスクトップ

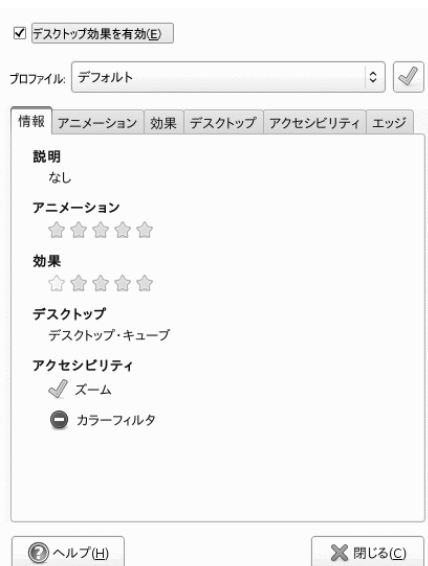


デスクトップ効果を有効にする

デスクトップ効果を有効にするには、3Dをサポートしているグラフィックカードが必要です。また、そのカードを利用するためのLinux用グラフィックドライバも必要です。このドライバは、LinuxカーネルからのOpenGL(または3D)リクエストを処理できなければなりません。設定がデスクトップ効果に対して互換性を持つ場合、デフォルトで有効になります。設定がデスクトップ効果をサポートしない場合、起動時に警告が表示されます。

デスクトップ効果を有効または無効にするには、次の手順に従います。

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンタ] の順にクリックします。
- 2 [ルックアンドフィール] グループの [デスクトップ効果] をクリックします。



- 3 デスクトップ効果に対してシステムが設定されている場合は、[デスクトップ効果を有効] をチェックします。デスクトップ効果を有効なまま維持するには、[開く] ダイアログで [はい] を押します。デスクトップ効果を有効なまま維持しない場合は、デスクトップ効果は10秒で自動的に無効になります。

デスクトップ効果を無効にするには、[デスクトップ効果を有効] オプションのチェックをオフにします。

- 4 これで、デスクトップ効果のデフォルトセットが有効になります。[デスクトップ効果] ダイアログの複数のタブで有効な効果とその設定を変更できます。また、ドロップダウンリストから [プロフィール] を選択するだけで、この設定を変更できます。選択したプロフィールを有効にするには、緑のボタンを押します。

デスクトップ効果の変更

GNOMEコントロールセンターの [ルックアンドフィール] セクションには、デスクトップ効果のための簡略化された設定ツールが含まれています。、 [コンピュータ] > [コントロールセンター] > [ルックアンドフィール] > [デ

デスクトップ効果] をクリックすることにより、メインメニューからデスクトップ効果ツールを開くことができます。

図 3.13 デスクトップ効果の設定



- 1 [情報] タブを使用して、現在のデスクトップ効果設定に関する一般的な情報を取得します。
- 2 [アニメーション] タブのオプションを使用して、ウィンドウの開閉時、フォーカス時、最小化時の処理を指定します。
- 3 [効果] タブのオプションを使用して、使用するスイッチャの種類を指定します。これは、**Alt + <Tab>**の組み合わせを使用してウィンドウ間で切り替えを行うときに適用されるデスクトップ効果です。ここでは、デスクトップキューブの不透明度や揺れるウィンドウなど、さまざまなデスクトップ効果を設定できます。
- 4 [デスクトップ] タブのオプションを使用して、使用する仮想デスクトップの表現(3次元のデスクトップキューブまたは平面のデスクトップウォール)と、使用する仮想デスクトップの数を設定します。

- 5 [アクセス性] タブのオプションを使用して、画面および領域のズームを設定します。
- 6 [端] タブを使用して、アクティブな画面の端に関連する機能を設定します。
- 7 それぞれのオプションの詳細については、[Help] をクリックしてください。
- 8 必要なすべてのオプションを設定したら、[閉じる] をクリックして変更を適用します。

注意: 詳細設定ツール

詳細設定ツールは、コマンド `ccsm` でターミナルエミュレータから起動できます。これにより、GNOMEコントロールセンターの簡略化されたツールよりも広範な設定オプションを選択できます。

`gconf-editor` を使ってデスクトップ効果設定を変更することもできます。

- 1 [コンピュータ] > [他のアプリケーション] > [システム] > [GNOME設定エディタ] の順にクリックするか、`Alt+F2` キーを押して `gconf-editor` と入力します。
- 2 `apps/compiz/general` および `apps/compiz/plugins` レジストリフォルダに移動して、適切な変更を行います。
- 3 [ファイル] > [終了] の順にクリックして、設定エディタを終了します。

デスクトップ効果のショートカット

デスクトップ効果を実行するために使用するデフォルトのキーストロークとマウスの移動を、次の表に示します。これらのショートカットを変更する場合には、詳細設定ツール(`ccsm`)の使用に関する説明を参照してください。ズーム機能のショートカットは、GNOMEコントロールセンターから使用可能なデスクトップ効果ツールで設定できます。

表 3.1 デスクトップ効果のショートカット

影響	Shortcut
すべてのデスクトップのパノラマビュー(デスクトップキューブ効果が有効な場合)	Ctrl+Alt+↓(左または右矢印を使用してスクロール)
デスクトップキューブを回転(デスクトップキューブ効果が有効な場合)またはスイッチデスクトップ(デスクトップウォール効果が有効な場合)	Ctrl + Alt + ←または→(デスクトップウォール効果が複数行にわたる場合に↑または↓キーを使用できます)
デスクトップキューブを手動で回転します(デスクトップキューブ効果が有効な場合)。	デスクトップでCtrl + Alt + 左クリックし、マウスポインタをドラッグ
現在のアクティブウィンドウを開いたままで、デスクトップキューブを回転させるか(デスクトップキューブ効果が有効な場合)、デスクトップを切り替えます(デスクトップウォール効果が有効な場合)。	Ctrl + Alt + Shift + ← or →
ウィンドウの切り替え(サムネイルビュー)	Alt + <Tab>
揺れるウィンドウ(揺れる効果が有効な場合)	ウィンドウを左クリックしてドラッグ
手動でズームします(画面ズームが有効な場合)。	Superキー(Windowsキー)+スクロールホイールを上に移動
手動ズームアウト(画面ズームが有効な場合)	Superキー(Windowsキー)+スクロールホイールを下に移動
マウスポインタの下にある領域を拡大します(領域ズームが有効な場合)。	Shift、 Superキー(Windowsキー)+スクロールホイールを上に移動
マウスポインタの下にある領域を縮小します(領域ズームが有効な場合)。	Shift、 Superキー(Windowsキー)+スクロールホイールを下に移動

3.4 個人用

以降のセクションでは、パスワードやキーボードショートカットなど、GNOME デスクトップのいくつかのパーソナル機能を設定する方法について、例を示します。支援技術の設定については、第4章 支援技術 (95 ページ) を参照してください。

3.4.1 パスワードを変更する

セキュリティ上の理由から、ログインパスワードは時々変更することをお勧めします。パスワードを変更する:

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンター] > [パーソナル] > [パスワード変更] の順にクリックします。
- 2 古い(現在の)パスワードを入力します。
- 3 新しいパスワードを入力します。
- 4 もう一度入力して、新しいパスワードを確認したら、[OK] をクリックします。

3.4.2 キーボードショートカットのカスタマイズ

キーボードのショートカット、つまりキーの組み合わせは、アクションを実行する通常の方法に代わるものです。さまざまなアクションに対して、キーボードのショートカットをカスタマイズできます。

キーボードのショートカットツールを開くには、[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [パーソナル] > [キーボードショートカット] の順に選択します。

図 3.14 キーボードのショートカットダイアログ



アクションのショートカットを変更するには、アクションを選択し、関連付けたいキーを押します。アクションに対するショートカットを無効にするには、アクションのショートカットをクリックして、←キーを押します。

3.5 システム

次のセクションでは、言語設定、電源管理、優先アプリケーション、セッションおよびセッション共有の初期設定、Beagle検索オプション、オーディオ初期設定など、GNOMEデスクトップのシステム面の設定方法の例を紹介します。

3.5.1 言語設定の実行

SUSE Linux Enterprise Desktopは、さまざまな言語から選択した使用言語を設定できます。言語設定はダイアログやメニューの言語を決定し、キーボードや時計のレイアウトも決定します。

次の言語設定を実行できます。

- ・ プライマリ言語
- ・ キーボードの言語設定のプライマリ言語への依存
- ・ タイムゾーンのプライマリ言語への関連

- セカンダリ言語

言語設定は次の手順で実行します。

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンター] > [システム] > [システム] [言語] の順にクリックします。
- 2 rootパスワードを入力します。

rootのパスワードがわからない場合は、システム管理者に問い合わせてください。rootのパスワードを入力しないと継続できません。
- 3 プライマリ言語を指定し、キーボードのレイアウトやタイムゾーンをプライマリ言語に合わせるか、コンピュータでサポートが必要なセカンダリ言語があるかを指定します。
- 4 [承諾] をクリックします。

言語設定が複数の設定ファイルに書き込まれます。このプロセスには数分かかることがあります。新しい設定は、設定ファイルが書き込まれるとすぐに有効になります。

3.5.2 ネットワークプロキシの設定

ネットワークプロキシ設定ツールでは、システムのインターネット接続方法を設定できます。デスクトップがプロキシサーバに接続するように設定し、サーバの詳細を指定できます。プロキシサーバは、別のサーバへのリクエストを傍受し、可能な場合はそのリクエストを実行します。プロキシサーバのドメインネームサービス(DNS)名、またはインターネットプロトコル(IP)アドレスを指定できます。DNS名はネットワーク上のコンピュータに対する一意のアルファベットの識別子です。IPアドレスはネットワーク上のコンピュータに対する一意の数字の識別子です。

[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [システム] > [ネットワークプロキシ] をクリックします。

図 3.15 ネットワークプロキシ設定ダイアログ



それぞれのオプションの詳細については、[\[Help\]](#) をクリックしてください。

3.5.3 ブルートゥース設定の指定

Bluetoothモジュールでは、Bluetoothを経由するマシンを表示するかどうか、Bluetooth通信で使用されているマシンの名前、およびパネルにBluetoothアプレットを表示するかどうかを設定できます。Bluetooth接続を設定するには、次の手順に従います。

- 1 [\[コンピュータ\]](#) > [\[コントロールセンター\]](#) > [\[システム\]](#) > [\[Bluetooth\]](#) をクリックするか、またはGNOMEパネルでBluetoothアイコンを右クリックし、[\[初期設定\]](#) を選択します。
- 2 [\[一般\]](#) タブでは、GNOMEパネルの通知領域でBluetoothアプレットアイコンを表示するかどうかを設定します。アプレットのアイコンを右クリックし、Bluetoothデバイスとの接続およびファイル転送について設定します。
- 3 [\[一般\]](#) タブで、Bluetoothアダプタのオンとオフを切り替えるために、[\[Power switches\(出力スイッチ\)\]](#) のオプションを使用します。使用可能なオプションは、使用するハードウェアに応じて異なります。

- 4 Bluetoothハードウェアが使用可能であり、オンに切り替えると、使用可能なタブが追加されます。[*Visibility setting*(表示設定)]で、Bluetoothネットワーク上のマシンを表示するかどうかを設定します。[*Temporary visible*(一時的に表示)] オプションを選択した場合は、スライダを使用して表示する期間を設定します。[*Friendly name*(公開する名前)] オプションでは、Bluetoothネットワークのコンピュータの名前を指定します。
- 5 [*Known devices*(認識されているデバイス)] セクションには、認識されているすべてのBluetoothデバイスのリストが表示されます。プラスアイコンのボタンを使用して、新しいデバイス接続を設定します。
- 6 [閉じる] をクリックします。

Bluetoothを経由するファイル共有を設定するには、次の手順に従います。

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンター] > [システム] > [個人的なファイルの共有] をクリックします。
- 2 [*Share Files over Bluetooth*(Bluetoothを介したファイルの共有)] セクションで、~/Publicディレクトリ内のファイルの共有を設定します。[*Share Public files over Bluetooth*(Bluetoothを介した公開ファイルの共有)] を使用して、このディレクトリの共有を有効または無効にします。リモートデバイスで公開ファイルを削除できるかどうか、およびリモートデバイスをコンピュータに接続する必要があるかどうかを指定します。
- 3 [*Receive Files over Bluetooth*(Bluetoothを介したファイルの受信)] セクションで、どのデバイスからBluetoothを経由して送信されたファイルを受信するか、および受信したファイルについて通知を受けるかどうかを指定します。
- 4 [閉じる] をクリックします。

3.5.4 電源管理の設定

電源管理モジュールを使って、システムの節電オプションを管理することができます。特にラップトップの電池を節約するのに役立ちます。コンピュータを電源に接続して使用する場合には、節電に役立つ複数のオプションがあります。

スリープモードは、一定時間使用されていないコンピュータをシャットダウンします。電池を使用している場合でもAC電源を使用している場合も、コンピュータがどのくらいの時間使用されないままであればスリープ状態になるかを指定できます。コンピュータをシャットダウンせずにディスプレイをスリープ状態にして、表示に必要な電力を節約することもできます。

スリープモードは、コンピュータが電池で作動している場合は特に重要です。画面とコンピュータの両方が電池で作動している場合は、どちらか一方か両方をシャットダウンするとかなりの電池が節約できます。短時間でディスプレイをスリープモードにする方法は、よく使われています。さらにコンピュータが使われない状態にある場合もスリープモードになります。

電源管理モジュールでは、設定できるスリープモードまたはアクションがいくつかあります。

何もしない

コンピュータはシャットダウンせず、自動的に節電モードにも入りません。ラップトップの場合、ラップトップはカバーを閉じてても通常は実行を続けます。

画面の消去(ブランク画面)

画面に花にも表示されず、電力消費を抑えることができます。

Suspend

サスペンドモードは、ディスプレイやハードディスクなどの電気消費量の多いコンポーネントを、RAMの内容を保存せずにオフにします。保存されていないデータは失われます。

休止

コンピュータはRAMの内容をハードディスクに保存して、シャットダウンします。コンピュータを再度オンにすると、保存データがRAMに復帰され、コンピュータが以前の状態に戻されます。休止状態にするには、コンピュータにインストールされているRAMと同じ量の空きスペースがハードディスクに必要です。

電源管理モジュールを開くには、[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [システム] > [Power Management] をクリックします。

手順 3.4 コンピュータのスリープ設定の指定

1 使用している電源と同じタイプのタブをクリックします。コンピュータでAC電源を使用している場合は、[AC電源動作時] をクリックします。お使いのコンピュータがバッテリーを使用している場合は、[バッテリー電源動作時] をクリックします。コンピュータがAC電源とバッテリーの両方で動作している場合は、両方のタブの設定を行うことができます。

2 ディスプレイとコンピュータをスリープモードにするまでの、何も操作が行われなかった時間を調整するには、スライダを使用します。

ディスプレイがスリープモードでも、コンピュータは動作し続けます。コンピュータがスリープモードになっている場合、ディスプレイとハードディスクへの電力供給は中断され、RAMの内容を保持するために必要な電力だけが消費されます。

3 ラップトップコンピュータの場合、ラップトップのカバーを閉じた時の動作を設定します。

4 ラップトップのバッテリーの管理方法を設定した場合、バッテリー容量が低下した場合の対処方法を設定します。

メニューからオプションを選択します。十分な空きスペースがディスクにある場合は、休止状態の選択を推奨します。

5 [一般] タブで、電源ボタンを押したときのアクション、コンピュータを使用していないときのスリープのタイプなど、さらにオプションを設定できます。ここで使用できるオプションは、使用しているコンピュータのタイプ(ラップトップまたはその他のコンピュータ)によって異なります。

6 また、通知領域に電源アイコンをいつ、どのように表示するか、そしてエラー時にサウンドアラームを使用するかどうかを定義できます。

7 [スケジュール] タブで、指定の曜日の指定の時間にコンピュータの自動ウェイクアップを設定できます。

8 すべてのオプションが希望どおりに設定されたら、[閉じる] をクリックします。選択したオプションは、すぐに有効になります。

3.5.5 優先アプリケーションモジュールの設定

優先アプリケーションモジュールでは、インターネットのブラウズ、メールの送信、FTPによるデータ転送など、さまざまな一般的なタスクに対するデフォルトのアプリケーションを変更できます。

図 3.16 優先アプリケーション



- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンター] > [システム] > [優先アプリケーション] をクリックします。
- 2 設定するアプリケーションのタイプのタブをクリックします。
- 3 [選択] メニューから利用可能なアプリケーションを選択するか、アプリケーションの起動に使用するコマンドを入力します。
- 4 [閉じる] をクリックします。

変更はすぐに有効になります。

3.5.6 セッション共有環境設定

[*Remote Desktop Preference*(リモートデスクトップ設定)] ダイアログボックスでは、複数のユーザとGNOMEデスクトップセッションを共有し、セッション共有環境設定を実行できます。

重要項目: デスクトップセッション共有によるシステムセキュリティへの影響

デスクトップセッションを共有すると、セキュリティリスクが生じることがあります。可能な制約オプションを使用してください。オプションを調整してセキュリティレベルを低下させる必要がある場合は、できるだけ速やかに高いセキュリティレベルに切り替えてください。

- 1 [コンピュータ] > [コントロールセンタ] > [システム] > [リモートデスクトップ] の順にクリックします。



- 2 デスクトップセッションを他のユーザと共有するには、 [*Allow other users to view your desktop*(他のユーザにデスクトップの表示を許可する)] を有効にします。リモートユーザからのすべてのキーボード、ポインタ、クリップボードイベントは無視されます。
- 3 他のユーザにリモートでセッションにアクセスさせて制御させるには、 [*Allow other users to control you desktop*] を有効にします。下にある選択

したテキストをクリックすると、リモートユーザにシステムアドレスが電子メールで送信されます。

- 4 可能な場合はセキュリティオプションを使用します。 *[Ask you for confirmation(確認する)]* が有効な場合、リモートユーザはセッションに接続する前に確認が必要になります。セキュリティレベルを高めるには、 *[Require the user to enter this password]* (認証を使用する場合)を有効にします。

3.5.7 Beagle設定での検索の設定

BeagleはGNOMEデスクトップで使用される検索エンジンです。デフォルトで、Beagleは自動的に起動し、ホームディレクトリに索引を付けます。この設定を変更したり、検索後に表示される結果の数を指定したり、Beagleプライバシー設定を変更するには、 *[コンピュータ]* > *[コントロールセンター]* > *[システム]* > *[検索設定]* をクリックします。

図 3.17 検索の初期設定



詳細については、6.4項「検索の環境設定」(120ページ)および6.6項「ファイルとディレクトリにインデックスをつけない」(124ページ)を参照してください。

3.5.8 セッションの管理

このモジュールでは、セッションの管理が可能です。セッションは、デスクトップ環境にログインした時間と、ログアウトした時間の間に生じます。セッションの環境設定を行い、セッション開始時に起動するアプリケーションを指定できます。セッションにアプリケーションの状態を保存させ、別のセッションを開始したときに、その状態を復元するように設定できます。

この環境設定ツールには、複数のセッションを管理させることもできます。たとえば、旅行中に最も頻繁に使用するアプリケーションを起動するモバイルセッション、顧客にデモンストレーションやスライドショーを見せる場合に使用するアプリケーションを起動するデモセッション、オフィスでの仕事にさまざまなアプリケーションセットを使用するワークセッションなどがある場合です。

[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [システム] > [セッション] の順にクリックします。

図 3.18 セッションの初期設定



手順 3.5 環境設定の実行

- 1 **[Startup Programs]** タブで、プログラムを追加してセッションの開始時に自動的に起動できます。 **[Add]** をクリックして、このアプリケーションを実行するコマンドを指定します。ログインすると、コマンドが自動的に実行されます。

また、起動アプリケーションを削除するか、または編集して起動アプリケーションのコマンド、名前、または記述を変更できます。

- 2 **[オプション]** タブを使用して、ログアウト時に実行中のアプリケーションを記憶するかどうかを設定します。また、 **[Remember Currently Running Application(現在実行中のアプリケーションを記憶)]** を押すことにより現在実行中のアプリケーションを保存できます。

3.5.9 ソフトウェア更新の設定

ソフトウェア更新ツールでは、更新チェック、自動更新、および更新通知の頻度を設定できます。

- 1 ソフトウェア更新の初期設定ツールを起動するには、> **[コンピュータ]** > **[コントロールセンター]** > **[システム]** **[ソフトウェア更新]** の順にクリックします。
- 2 **[アップデートの設定]** セクションで、更新チェックの頻度と、更新を自動的にインストールするかどうかを設定します。自動インストールをセキュリティの更新に制限できます。
- 3 **[通知の表示]** セクションでは、更新が使用可能になったとき、または長いタスクが完了したときに通知を受けるかどうかを設定します。
- 4 **[閉じる]** をクリックします。

3.5.10 サウンド環境設定の実行

サウンド設定ツールでは、サウンドデバイスを管理できます。特定のイベントが発生したときに、再生するサウンドも指定できます。

サウンド環境設定ツールを起動するには、[コンピュータ] > [コントロールセンター] > [システム] > [サウンド] の順にクリックします。

サウンドデバイスの設定

デバイスが使用するサウンドを設定するには、[デバイス] タブを使用します。

図 3.19 サウンドデバイスの設定

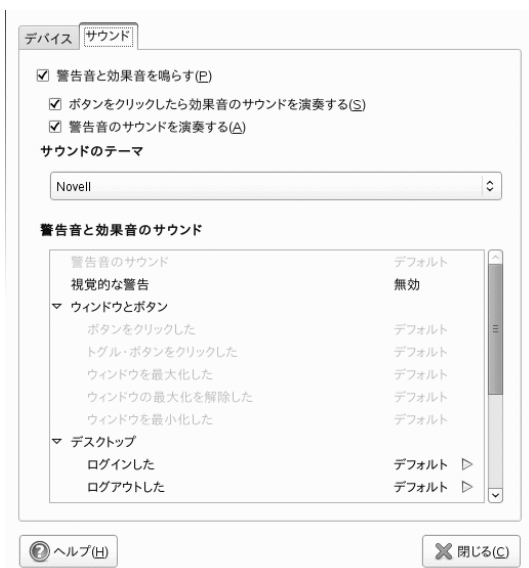


ドロップダウンリストをクリックして、各種のサウンドと使用するデバイスを選択します。特定のデバイスを使用する場合を除いては、[Autodetect(自動検出)]をお勧めします。[テスト] を押し、サウンド出力をテストします。

サウンドイベントの設定

[サウンド] タブを使用して、サウンドイベント機能を設定します。

図 3.20 サウンドイベントの初期設定



デスクトップで特定のイベントが発生したときにサウンドを再生する場合は、*[Play alerts and sound effects(アラートおよびサウンド効果を再生)]* をチェックします。ボタンのクリック時サウンドを再生する場合は、*[Play sound effects when buttons are clicked(ボタンのクリック時にサウンドを再生)]* をチェックします。サウンドアラートを有効にするには、*[Play alert sound(アラートサウンドを再生)]* をチェックします。

最後に、各イベントのサウンドを個別に使用または設定するには、*[Sound Theme(サウンドテーマ)]* を選択します。

3.5.11 YaSTを使った管理設定;

YaSTは、コントロールパネルからだけでなく、アプリケーションメニューから利用することもできます。YaSTの使用の詳細については、*Deployment Guide (導入ガイド)* ([↑Deployment Guide \(導入ガイド\)](#))を参照してください。

4

支援技術

GNOMEユーザインタフェースは、多数のアクセス性機能を組み入れており、GNOMEデスクトップのアクセス性に大きく寄与する特に設計された支援技術を備えています。

この章では、視力の低下や運動能力の障害など、身体に障害を持つユーザの必要性を満たすように設計された複数の支援技術アプリケーションについて説明します。

4.1 一般的なアクセス性機能

さまざまな種類の障害を持つユーザに役立つ多数の技術が存在します。ここでは、こうした技術について説明します。

4.1.1 デスクトップの外観の拡張

それぞれの必要性に合わせてGNOMEデスクトップの外観をカスタマイズする複数の方法が用意されています。それぞれの必要性に合わせてGNOMEデスクトップの外観をカスタマイズする複数の方法が用意されています。また、必要な表示設定を実現するために、デスクトップのさまざまなコンポーネントをカスタマイズできます。テーマの使用に加えて、またはテーマに代わって、デスクトップとアプリケーションを設定できます。詳細については、第3章設定のカスタマイズ(51 ページ)を参照してください。

デスクトップの特定コンポーネントのカスタマイズ

ここでは、デスクトップおよび頻繁に使用されるアプリケーションのフォント設定をカスタマイズする方法について説明します。

デスクトップおよびデスクトップの背景で、デフォルトのフォントの種類およびサイズに問題がある場合は、それぞれの必要性に合わせてフォントの設定をカスタマイズできます。

外観初期設定ツールでは、デスクトップのデフォルトのフォントを指定できます。外観初期設定ツールを起動するには、[システム] > [コントロールセンター] > [外観] を選択します。[フォント] タブには、次のオプションが表示されます。

アプリケーションフォント

このボタンをクリックして、GNOME準拠のアプリケーションに関連するウィンドウおよびダイアログに表示されるテキストを含めて、デスクトップに表示されるテキストで使用されるデフォルトのフォントを選択します。

文書のフォント

このボタンをクリックし、文書の表示で使用するフォントを選択します。

デスクトップフォント

このボタンをクリックして、デスクトップの背景にのみ表示されるテキストで使用されるフォントを選択します。

ウィンドウタイトルフォント

このボタンをクリックして、ウィンドウのタイトルバー領域に表示されるテキストで使用されるフォントを選択します。

固定幅フォント

このボタンをクリックし、文書の編集で使用するフォントを選択します。

フォントのレンダリング

デスクトップのフォントのレンダリング方法を指定するために、次のいずれかを選択します。

- モノクロ,
- *Best Shapes*(形状を最高に設定):

- *Best Contrast*(コントラストを最高に設定):
- または*Subpixel Smoothing*(サブピクセルのスモーキング)

大きなフォントを使用した場合、ファイルマネージャやヘルプブラウザなどのアプリケーションでペインサイズを変更することが必要になる場合があります。

デフォルトでは、GNOMEアプリケーションは外観初期設定ツールで指定したデフォルトのフォントを使用します。一部のアプリケーションでは、このデフォルトのフォントをカスタマイズできます。

デスクトップコントラストのカスタマイズ

デスクトップコントラストのカスタマイズ

- 1 外観初期設定ツールを使用して、[テーマ] タブから必要な高コントラストまたは低コントラストのデスクトップテーマを選択します。
- 2 [背景] タブを使用して、デスクトップの背景をカスタマイズします。
 - [Desktop Wallpaper(デスクトップ壁紙)] を [No Wallpaper(壁紙なし)] に設定します。
 - [デスクトップカラー] を「[無色]」に設定します。
 - それぞれの必要性を満たす背景色を選択します。
- 3 [プロファイルの編集] ダイアログの [色] タブセクションで、[Use colors from system theme(システムテーマの色を使用)] オプションが選択されていることを確認します。
- 4 geditテキストエディタの [コントロールセンタ] ダイアログの [Colors & Fonts(色とフォント)] タブ付きセクションで [Use default theme colors(デフォルトテーマ色の使用)] オプションが選択されていることを確認します。

デスクトップフォントのカスタマイズ

デスクトップのフォントのサイズを大きくするには、次の手順に従います。

- 1 外観初期設定ツールを使用して、*[Large Print(拡大表示)]* テーマを選択します。
- 2 デスクトップおよびウィンドウ枠で使用するフォントのサイズを大きくするために、*[フォントを適用]* ボタンをクリックします。
- 3 *[デスクトップフォント]* オプションを使用して、デスクトップのフォントのサイズを大きくします。
- 4 gedit(テキストエディタ)の *[コントロールセンタ]* ダイアログで *[Use default theme font(デフォルトのテーマフォント)]* オプションを選択した場合、geditでは選択した拡大表示テーマで指定されているフォントサイズが使用されます。

ファイルマネージャやヘルプブラウザなど、ペインを使用するアプリケーションを使用している場合は、拡大表示に対応するためにペインのサイズを変更することが必要になる場合があります。ファイルマネージャやヘルプブラウザなど、ペインを使用するアプリケーションを使用している場合は、拡大表示に対応するためにペインのサイズを変更することが必要になる場合があります。

4.2 動作の障害

動作の障害にはさまざまな原因が考えられます。筋肉のコントロールが不十分であったり、筋肉が脆弱であったりすると、標準的なキーボードやマウスデバイスを使用することが困難になる場合があります。筋肉のコントロールが不十分であったり、筋肉が脆弱であったりすると、標準的なキーボードやマウスデバイスを使用することが困難になる場合があります。たとえば、2つのキーを同時に入力できない人や、複数のキーを押してしまう人、キーを押すときや離すときにキーを何度も押してしまう人がいます。

4.2.1 同様に、片手しか使用できない人もキーボードやマウスの操作に苦労します。

マウスの動作の設定マウスの初期設定ツールを起動するには、 [システム] > [コントロールセンタ] > [マウス] を選択します。

左利き用のマウス

左利き用にマウスを設定するには、 [マウスの初期設定] ダイアログの [ボタン] タブをクリックし、 [左利き用マウス] オプションを選択します。このオプションを選択すると、左マウスボタンの機能と右マウスボタンの機能が直ちに入れ替わります。

ダブルクリックの動作

ダブルクリックの動作たとえば、ダブルクリックのタイムアウト設定が0.4秒である場合、ダブルクリックの第1のクリックから0.4秒以内に第2のクリックを行う必要があります。第2のクリックが第1のクリックから0.4秒を超えて行われた場合は、2回のシングルクリックとして解釈されます。

ダブルクリックのタイムアウト設定を変更するには、次の手順に従います。

1. [マウスの初期設定] ダイアログの [ボタン] タブをクリックします。
2. [タイムアウト] スライダを使用して、ダブルクリックの2回のクリック間で許容されるタイムアウト(秒)を指定します。スライダを右に移動するとタイムアウトの間隔が増えます。
3. スライダの右にある電球をダブルクリックすると、設定をテストできます。指定したタイムアウト内にダブルクリックの2回のクリックを行うと、電球が光り、電球の周囲が黄色く輝きます。指定したタイムアウト内にダブルクリックしない場合は、電球は完全には点灯しません。タイムアウト設定を増やして、再度試みてください。電球が点灯すれば、タイムアウト設定はそれぞれの必要性に適しています。

マウスポインタサイズ

デスクトップに表示されるマウスポインタのサイズを変更するには、`[マウスの初期設定]` ダイアログの `[ポインタ]` タブをクリックします。これにより、使用可能なポインタのテーマとサイズのリストが表示されます。

デフォルトでは、GNOMEにはマウスポインタのテーマは含まれません。ポインタテーマをインストールおよび使用方法の詳細については、3.3.5項「`テーマの選択`」(64 ページ)を参照してください。

マウスの速度と感度

マウスの速度と感度を設定するには、次の手順に従います。

- 1 `[マウスの初期設定]` ダイアログの `[動作]` タブをクリックします。
- 2 `[ポインタ速度]` セクションで加速スライダを使用して、マウスを移動したときにマウスポインタが画面上を動く速度を指定します。

低い設定を選択すると、マウスを移動している物理的な速度に近い速度でマウスポインタが移動します。この場合、同じ画面領域に対して、マウスを物理的により長い距離移動する必要があります。高い設定を選択すると、マウスを移動している物理的な速度より大きな速度でマウスポインタが移動します。この場合、同じ画面領域に対して、マウスを物理的により短い距離移動する必要があります。

- 3 マウスの動きに対するマウスポインタの感度を感度スライダで指定します。スライダを右に移動すると感度が大きくなり、左に移動すると感度が小さくなります。
- 4 `[ドラッグアンドドロップ]` セクションでスライダを使用して、操作がドラッグアンドドロップ操作として解釈されるためにポインタによりアイテムを移動する必要がある距離を変更します。

利用しやすいキーボードの設定

`[キーボード設定]` ツールを使用して、キーボードのアクセシビリティオプションを設定します。キーボード設定ツールを起動するには、`[システム] > [コ`

ントロールセンタ] > [キーボード] を選択します。 [アクセス性] タブを選択することにより、アクセス性オプションを有効にできます。

アクセス性の高いマウスの設定

マウスの初期設定ツールを使用して、マウスアクセス性オプションを設定します。マウスの初期設定ツールを起動するには、 [システム] > [コントロールセンタ] > [マウス] を選択します。 [アクセス性] タブを選択することにより、アクセス性オプションを有効にできます。

4.2.2 GNOME画面キーボード

GNOMEオンスクリーンキーボード(GOK)では、デスクトップに仮想キーボードが表示されます。仮想キーボードを操作するために、標準のマウスポインタまたは代替のポインティングデバイスを使用できます。GOKでは、次の種類のキーボードが表示されます。

- コンポーザキーボードを使用して、テキストを作成できます。英数字を入力するには、コンポーザキーボードで文字を選択します。
- ダイナミックキーボードは、デスクトップで現在実行中のアプリケーションに合わせて変化します。たとえばオンスクリーンキーボードは、デスクトップで実行中のアプリケーションまたはアプリケーションに含まれるメニューに対応するキーを含むダイナミックキーボードを生成します。

使用可能な多数のアクセス性ツールを使用するには、支援の技術サービスを有効にする必要があります。

- 1 [システム] > [コントロールセンタ] > [支援技術] を選択します。
- 2 [支援技術を有効にする] を選択し、 [閉じる] および [ログアウト] を押します。
- 3 再度ログインします。これで、支援技術サービスは有効になります。

4.2.3 アプリケーションウィンドウの最大化

オンスクリーンキーボードユーザの場合は、アプリケーションウィンドウによりオンスクリーンキーボードの表示が邪魔されるので、全画面モードでアプリケーションを使用することはできません。

オンスクリーンキーボードアプリケーションとともに使用するためにウィンドウのサイズを変更するには、次の手順に従います。

- 1 アプリケーションの全画面モードを有効にしないでください。
- 2 アプリケーションウィンドウにフォーカスを移動します。
- 3 F10を押すと、アプリケーションが最大化します。

4.3 Orca

視覚的な障害は、視力低下から失明まで、広い範囲にわたります。コンピュータ画面上でテキストや画像を見るとき、およびコンピュータマウスの移動など、目と手を協調させる必要がある操作を実施するときに、視覚に障害を持つ人は困難に直面します。テキストのサイズと色を変えることで、視力の低下したユーザにとって読みやすさに大きな違いが生じることがあります。

Orcaは、視覚障害を持つユーザのための柔軟かつ拡張可能で強力な支援技術です。音声合成、ブライユ点字、および拡大鏡をさまざまに組み合わせたOrcaスクリーンリーダとOrca拡大アプリケーションを使用することで、視力に制限があるか視力を喪失したユーザがGNOMEデスクトップおよび関連するアプリケーションを使用することが可能になります。スクリーンリーダはまたブライユ点字もサポートしています。

4.3.1 Orcaの実行

テキストのみのガイド付き設定の場合は、**Alt + F2**により **[実行]** ダイアログを開き、`Orcatext-setup`を入力して、**Enter**を押します。

Orcaを最初に起動するときに、選択する言語のリストが表示されます。使用する言語のID番号(たとえば米国英語の場合は7)を入力し、**Enter**を押します。

最初にOrcaを実行すると、自動的にセットアップモードになります。後でセットアップを実行する場合は、次回の実行時にsetupオプションをOrcaに渡すことができます。さらにOrcaの実行中に、**Ins + Space**を押してOrcaの設定GUIを表示できます。最後に、`--text-setup`オプションをOrcaに渡すことにより起動できるテキストセットアップユーティリティがOrcaで用意されています。これらのオプションのすべてで、コントロールセンタが保持され、アクセス性インフラストラクチャを有効にする`~/.orca/user-settings.py`ファイルが作成されます。新しい設定を有効にするには、ログアウトして再度ログインする必要があります。

ターミナルセッションウィンドウでorcaと入力することによりOrcaを起動します。GUIに依然としてアクセスできない場合は、仮想コンソールウィンドウから次のことを行います。また、GUIがインストールされている場合は、**Alt + F2**を押して [実行] ダイアログを表示し、コマンドorcaを入力し(その後でオプションパラメータを入力し)、**Enter**を押すことができます。仮想コンソールウィンドウから実行した場合、またはGUI環境でアクセス性が依然として設定されていない場合、Orcaは自動的にテキストセットアップモードになります。

Orcaを終了するには、**Ins + Q**(またはラップトッププレイアウトモードでは**CapsLock + Q**)を押します。 [Confirmation(確認)] ダイアログが表示されます。

4.3.2 ブライユ点字ページ

ブライユ点字ページでは、ブライユ点字の使用に関するさまざまな要素をカスタマイズできます。

ブライユ点字ページの最初のコントロールは [Enable braille support(ブライユ点字のサポートを有効にする)] チェックボックスです。このチェックボックスでは、Orcaでブライユ点字ディスプレイを使用するかどうかを切り替えます。

このチェックボックスでは、Orcaでブライユ点字ディスプレイを使用するかどうかを切り替えます。Orcaブライユ点字モニタでは、ブライユ点字ディスプレイのオンスクリーン表現が可能です。

[Abbreviated role names(役割名の短縮)] チェックボックスは、役割名の表示方法を決定するもので、ブライユ点字ディスプレイ上の実際の領域を節約するために使用できます。

このチェックボックスをチェックすると、行の最後に\$1文字列は表示されません。

[冗長性] ラジオボタングループにより、特定の状況でブライユ点字に変換される情報量を決定します。

4.3.3 拡大ページ

拡大ページでは、拡大鏡を有効/無効にし、拡大鏡の実行方法を指定できます。

拡大鏡ページの最初のコントロールは *[Enable braille support(ブライユ点字のサポートを有効にする)]* チェックボックスです。このチェックボックスにより、Orcaで拡大鏡を提供するかどうかを切り替えます。このオプションでは、音声合成とブライユ点字のサポートを有効にする機能に加えて、広範なユーザの必要性に合わせてOrcaをカスタマイズできます。

2つの拡大/縮小GUIコントロール(拡大鏡の倍率を設定する *[Scale factor(倍率)]* と、拡大鏡ウィンドウの場所とサイズを設定する *[位置(Position)]*)により、拡大鏡の特性を決定します。

パート II. *GNOME* ユーザガイド



ネットワークリソースへのアクセス

デスクトップから、ファイルやディレクトリ、およびリモートホスト上の特定のサービスにアクセスしたり、自分のファイルやディレクトリをネットワーク中の他のユーザに利用させることができます。SUSE® Linux Enterprise Desktopは、ネットワーク共有リソースのアクセスと作成のために以下の方法を提供しています。

- **ネットワーク参照:** Nautilusをファイルマネージャとして利用することにより、共有リソースやサービスを参照できます。詳細については、5.3項「ネットワーク共有へのアクセス」(109 ページ)を参照してください。
- **混在環境でのフォルダの共有:** Nautilusを使って、ネットワーク上の他のユーザとファイルやフォルダを共有できます。任意のWindowsまたはLinuxワークステーションの他のユーザがデータを参照したり、書き込みしたりできるようにします。詳細については、5.4項「フォルダの共有」(111 ページ)を参照してください。
- **Windowsファイルの管理:** SUSE Linux Enterprise Desktopは、既存のWindowsネットワークと統合するように設定できます。この場合、LinuxコンピュータはWindowsクライアントのように動作します。Windowsクライアントと同様に、すべてのアカウント情報をActive Directoryドメインコントローラから取得します。
- **Windowsネットワークプリンタの設定とアクセス:** GNOMEコントロールセンターから、Windowsネットワークプリンタを設定できます。設定方法の詳細については、5.6項「Windowsネットワークプリンタの設定とアクセス」(114 ページ)を参照してください。

5.1 ネットワークに接続

有線接続または無線接続でネットワークに接続できます。ネットワーク接続状況を確認するには、[コンピュータ]をクリックします。メインメニューの[状態]エリアで、[ネットワーク接続]アイコンがネットワーク接続状態を示します。このアイコンをクリックし、YaSTネットワーク設定モジュールを開きます。このモジュールを使用してネットワーク設定方法を設定するか、ネットワークカードの設定を編集することができます。

5.2 ファイル共有とネットワーク参照に関する一般的な注意

お使いのコンピュータやネットワークで、ファイル共有やネットワーク参照機能の利用可能範囲は、ネットワーク構造とコンピュータの設定によって異なります。ネットワーク構造またはコンピュータを設定する前に、ネットワーク構造でファイル共有やネットワーク参照機能がサポートされているかどうか、また、企業のセキュリティポリシーで許可されているかどうか、システム管理者に確認してください。

Windows共有用のSMB参照やリモートサービス用のSLP参照などのネットワーク参照は、コンピュータがネットワーク上のすべてのクライアントにメッセージをブロードキャストできるかどうか大きく依存しています。コンピュータは、ブロードキャストメッセージとクライアントからの応答によって、利用できるネットワーク共有やサービスを検出します。ブロードキャストを効果的に行うためには、お使いのコンピュータが、他のブロードキャスト対象コンピュータと同じサブネット上に存在する必要があります。ネットワーク参照が利用できない場合、または検出された共有やサービスが利用予定のものとは異なる場合、コンピュータが適切なサブネットに接続されているかどうか、システム管理者に確認してください。

ネットワーク参照を利用するには、ネットワークの詳細、または共有およびサービスの可用性を知らせるネットワークメッセージを送受信できるように、いくつかのネットワークポートを開いておく必要があります。標準のSUSE Linux Enterprise Desktopは高いセキュリティレベルを維持するように設定されており、インターネットからコンピュータを保護するファイアウォールを備えています。ファイアウォール設定を調整するには、内部ゾーンにインターフェースを配置するようにシステム管理者に依頼するか、ファイアウォール

を完全に停止する必要があります(企業のセキュリティポリシーに基づきます)。ファイアウォールが動作している状態でネットワーク参照を行う場合、セキュリティ設定によりネットワーク参照が禁止されていることを示すNautilusメッセージが表示されます。

5.3 ネットワーク共有へのアクセス

ネットワーク上のワークステーションのフォルダを共有するように設定できます。通常、ファイルとフォルダにはユーザがリモートアクセスできることを示す記号が付いています。これらは、「ネットワークシェア(共有)」と呼ばれます。お使いのシステムがネットワーク共有にアクセスできるように設定されている場合、ローカルコンピュータ上にあるファイルやフォルダと同じように、ファイルマネージャを使って共有ファイルやフォルダにアクセスしたり、参照したりできます。共有フォルダに対するアクセスレベル(読み込み専用なのか、書き込みアクセスも可能なのか)は、共有フォルダの所有者がユーザに割り当てた権限によって異なります。

ネットワークにアクセスするには、Nautilusを起動して [場所] ペインで [ネットワーク] をクリックします。アクセスできるサーバとネットワークがNautilusに表示されます。共有フォルダにアクセスするサーバまたはネットワークをダブルクリックします。ユーザ名とパスワードを入力してサーバへの承認が求められる場合があります。一般的なネットワーク共有フォルダは、SFTPでアクセス可能なリソース(SSH File Transfer Protocol)またはWindows共有フォルダです。

☒ 5.1 ネットワークファイルブラウザ



5.3.1 ネットワークの場所の追加

- 1 [コンピュータ] > [Nautilusファイルブラウザ] > [ファイル] > [Connect to Server] の順にクリックします。

☒ 5.2 [サーバに接続] ダイアログボックス



- 2 サービスタイプを選択し、次にそのサービスタイプに必要な情報を指定します。

- 3 この接続の名前を指定して、**[接続]** をクリックします。

ネットワークの場所のアイコンがデスクトップに追加されます。

5.4 フォルダの共有

企業環境では、ドキュメントの共有および交換は必須の機能です。Nautilusでは、ファイル共有機能を利用して、LinuxユーザとWindowsユーザ間でファイルやフォルダを共有できます。

5.4.1 コンピュータの共有を有効にする

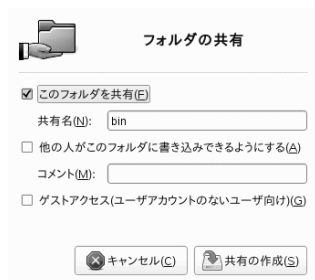
フォルダを共有するには、コンピュータの共有を有効にする必要があります。共有を有効にする

- 1 メインメニューからYaSTを起動します。
- 2 rootパスワードを入力します。
- 3 **[Network Services]** (ネットワークサービス) をクリックします。
- 4 **[Windows Domain Membership]** (Windowsドメインメンバーシップ) をクリックします。
- 5 **[ユーザにディレクトリの共有を許可する]** をクリックして、次に**[OK]** をクリックします。

5.4.2 フォルダの共有を有効にする

フォルダのファイル共有を有効にする

- 1 Nautilusを起動します。
- 2 フォルダを右クリックして、コンテキストメニューから**[共有オプション]** を選択します。



- 3 [このフォルダを共有] を選択します。
- 4 (オプション)他のユーザからのフォルダへの書き込みを許可する場合は、
[他の人がこのフォルダに書き込みできるようにする] を選択します。
- 5 (条件付き)共有に必要なパーミッションがフォルダにない場合は、
[Add the permissions automatically] (パーミッションを自動的に追加する)を
クリックします。

フォルダが共有されていることを示すために、フォルダアイコンが変化します。

重要項目: Samba ドメイン参照

Samba ドメイン参照は、システムのファイアウォールが正しく設定されている場合にのみ利用できます。ファイアウォール全体を無効にするか、または参照インタフェースを内部ファイアウォールゾーンに指定します。設定方法の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

5.5 Windows ファイルの管理

SUSE Linux Enterprise Desktop コンピュータを Active Directory クライアントとして使用することにより、Windows サーバ上のデータを参照、表示、および操作できます。以下に代表的な例を示します。

Nautilus を使った Windows ファイルの参照

Nautilus のネットワーク参照機能を使って、Windows データを参照することができます。

Nautilusを使ったWindowsデータの表示

Nautilusを利用して、Linuxディレクトリを参照する場合と同様に、Windowsフォルダの内容を参照できます。Windowsサーバー上にファイルやフォルダを作成することもできます。

GNOMEアプリケーションを使ったWindowsデータの操作

多くのGNOMEアプリケーションでは、Windowsサーバ上のファイルを開いて作業を行い、再びWindowsサーバに保存することができます。

シングルサインオン

Nautilusを含むGNOMEアプリケーションは、シングルサインオンをサポートしています。つまり、Webサーバ、プロキシサーバ、またはグループウェアサーバ(例:MS Exchange)などの他のWindowsリソースにアクセスする場合は、再び認証を受ける必要がありません。これらすべての認証は、ログイン時に入力したユーザ名とパスワードを使用してバックグラウンドで自動的に行われます。

Nautilusを使ってWindowsデータにアクセスするには、以下の手順に従ってください。

- 1 Nautilusを起動して、[場所] ペインで [ネットワーク] をクリックします。
- 2 [Windowsネットワーク] をダブルクリックします。
- 3 アクセスするコンピュータがあるワークグループのアイコンをダブルクリックします。
- 4 コンピュータのアイコンをクリックして(必要に応じて認証を受けて)、次にそのコンピュータ上の目的の共有フォルダに移動します。

Nautilusを使ってWindowsユーザフォルダ中にフォルダを作成する場合は、Linuxフォルダを作成する場合と同じ手順で作業を行います。

5.6 Windowsネットワークプリンタの設定とアクセス

ネットワークに接続し、Windows Active Directoryサーバの認証を受けたら、プリンタなどの企業リソースにアクセスできます。GNOMEでは、LinuxクライアントからWindowsネットワークプリンタに印刷できるように設定できます。

LinuxクライアントからWindowsネットワークプリンタを利用できるように設定するには、以下の手順に従ってください。

- 1 メインメニューからGNOMEコントロールセンターを起動します。
- 2 [Hardware]、> [印刷] の順に選択します。
- 3 [新しいプリンタ] > を選択します。
- 4 [Windows Printer via SAMBA (SAMBA経由でのWindowsプリンタ)] を選択します。
- 5 [参照] でSMBブラウザを起動し、ワークグループ、サーバ、およびプリンタを選択します。認証資格情報を入力するか、プリンタにアクセスするたびに認証を求められるようにします。[転送] をクリックします。
- 6 プリンタメーカーとプリンタモデルをリストから選択し、ドライバを選択します。通常は、[推奨] と記されたものを選択すると最良の結果が得られます。[進む] を選択して進み、プリンタの名前、説明、および場所を指定します。[適用] をクリックします。
- 7 プリンタを追加するにはルート権限が必要です。したがって、追加のための最後の手順としてルートパスワードを入力する必要があります。

設定したWindowsネットワークプリンタに印刷するには、利用可能なプリンタリストから該当するプリンタを選択します。

6

Beagleを使った検索

Beagleは、検索要求に対応するために個人情報領域(通常はホームディレクトリ)にインデックスを付ける検索ツールです。Beagleを利用すれば、ドキュメント、電子メールと添付ファイル、Web履歴、IM/IRCチャット、アドレス帳の連絡先、カレンダーの予定、ノート、ソースコード、画像、音楽/ビデオファイル、アーカイブとその内容、およびアプリケーションなど、さまざまなものを検索することができます。

6.1 Beagleの使用

Beagleを使用するには、[コンピュータ]をクリックして[検索]に検索する文字列を入力し、Enterキーを押します。結果は[デスクトップ検索]ダイアログボックスに表示されます。

図 6.1 デスクトップ検索ダイアログボックス



結果のリストはファイルを開くのに使用したり、メールで転送したり、ファイルマネージャで表示できます。結果リストの項目を右クリックして、オプションを選択します。結果リストのアイテムで使用可能なオプションは、そのファイルの種類により決定します。リストのファイルを選択するとファイルのプレビュー、タイトル、パス、最終修正またはアクセス日などの情報が表示されます。

図 6.2 ファイルを選択した [デスクトップ検索] ダイアログボックス



ファイル検索をアドレス帳やWebページに限定したり、特定のタイプのファイルだけを表示させるには、[検索対象]メニューを使用します。[表示]メニューでは名前、関連性、またはファイルの最終修正日にしたがって、結果リストの項目がソートできます。

また、[コンピュータ] > [その他のアプリケーション] > [システム] > [検索]の順にクリックして、デスクトップ検索を利用することもできます。

6.2 検索のヒント

- 検索する用語には、大文字と小文字の両方を使用できます。検索処理において、大文字と小文字は区別されません。
- オプションの用語を検索するには、「OR」を使用します(例、apples OR oranges)。

重要項目

オプションの検索語を指定する場合、ORは大文字にする必要があります。

- 検索する用語を除外するには、負の記号(-)を除外したい用語の前に入力します(例、「apples -oranges」と入力すると、「apples」を含むが「oranges」を含まない結果を検索します)。
- 検索する用語の基本形が検索時に使用されます(たとえば、「driving」は「drive」、「drives」、および「driven」と一致します)。
- 完全に一致するフレーズまたは単語を検索するには、引用符(")でそのフレーズまたは単語を囲みます。
- “a”、“the”、および“is”などの一般的な語は無視されます。

6.3 Property Search(プロパティ検索)の実行

デフォルトでは、Beagle検索ツールは文書のテキストおよびそのメタデータにある用語を検索します。特定のプロパティにある単語を検索するには、`property: query`を使用します。たとえば、`author: john`と入力すると、著者のプロパティに“john”という単語がリストされたファイルを検索します。

表 6.1 サポートされているプロパティキーワード

キーワード	説明	プロパティ
album	音楽ファイル	アルバム名
artist	音楽ファイル	アーティスト名
著者	ドキュメント	ドキュメントの著者 (ドキュメントの作成者と同じ)

キーワード	説明	プロパティ
作成者	ドキュメント	ドキュメントの作成者、 <code>dc : creator</code> にマップされる(例:PDFファイルの作成者)
電子メール	アドレス帳	電子メールアドレス
emblem	ファイル	Nautilusで使用されるエンブレム
extension または ext	ファイル	ファイルの拡張子(例、 <code>extension:jpeg</code> or <code>ext:mp3</code>)。拡張子なしのファイルを検索する場合は、 <code>extension:</code> または <code>ext:</code> を使用します。
ジャンル	音楽ファイル	音楽のジャンル
imagecomment	画像ファイル	IPTCキャプションまたはExifコメントのある画像中のコメントや説明
imagemodel	JPEGイメージ	カメラの型式(例:EOS2D)
imagetag	画像ファイル	F-スポットおよびDigikam画像タグとIPTCキーワード
inarchive	ファイル	アーカイブ内部のファイルに対して <code>inarchive:true</code> を使用します。
inattachment	ファイル	電子メールの添付ファイルに対して <code>inattachment:true</code> を使用します。
mailfrom	[電子メール]	送信者名
mailfromaddr	[電子メール]	送信者の電子メールアドレス
mailinglist	[電子メール]	メーリングリストのID(例:dashboard-hackers.gnome.org)

キーワード	説明	プロパティ
mailto	[電子メール]	受信者名
mailtoaddr	[電子メール]	受信者の電子メールアドレス
speakingto	チャット	話者
title	ドキュメント	ドキュメントのタイトル、dc:titleにマップされる(例:HTMLファイルのtitleタグ)

プロパティ検索は、6.2項「検索のヒント」(117ページ)で説明されているルールに従って実行されます。除外クエリまたはORクエリとしてプロパティ検索を使用できます。また、フレーズは、「クエリ」として使用できます。たとえば、次の行は、“apple”という単語を含むすべてのPDFまたはHTML文書、著者名に“john”を含むすべてのPDFまたはHTML文書、および書名に“oranges”という単語を含まないすべてのPDFまたはHTML文書を検索します。

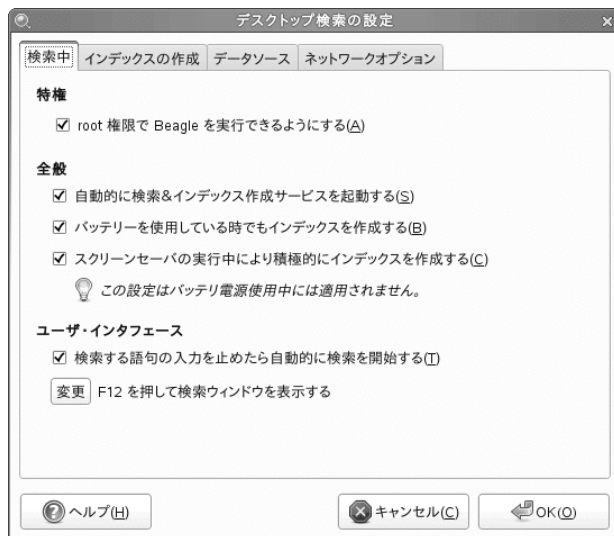
```
apple ext:pdf OR ext:html author:john -title:oranges
```

6.4 検索の環境設定

[デスクトップ検索の設定] ダイアログボックスを使用して、Beagle検索の初期設定を設定します。

- 1 [コンピュータ] > [その他のアプリケーション] > [システム] > [検索設定] の順にクリックします。

また、[デスクトップ検索] ダイアログボックスで [検索] > [初期設定] の順にクリックして開くこともできます。



2 次のオプションから選択します。

検索とインデキシングサービスを自動的に開始します： セッションへのログイン時に検索デーモンを自動的に開始する場合に、このオプションを選択します(このオプションはデフォルトで選択されています)。Beagleの検索機能を使用する場合、このデーモンが動作していなければなりません。

バッテリー使用中もデータのインデックスを作成する： コンピュータがバッテリー動作中に、データのインデックスを作成する場合、このオプションを選択します。このオプションを無効にすると、ラップトップコンピュータでSUSE Linux Enterprise Desktopを利用している場合に、バッテリー動作中はインデックスの作成を中止したいような場合に役立ちます。

スクリーンセーバの実行中により積極的にインデックスを作成する： スクリーンセーバを実行している場合、コンピュータがアクティブに使用されておらず、より多くのリソースをインデックス処理に充てることが可能であると考えられます。このオプションは、コンピュータがバッテリー動作中の場合には適用されません。

検索する語句の入力を止めたら自動的に検索を開始する: デスクトップ検索ウィンドウの [検索] フィールドへの文字列の入力を止めたら、すぐに検索を開始する場合に、このオプションを選択します。このオプションは、メインメニューの [検索] フィールドには関係ありません。

検索ウィンドウを表示するホットキー: Ctrl+Alt+ファンクションキーの組み合わせを指定して、[デスクトップ検索] ウィンドウを表示する入力キーを選択できます。キーは、デフォルトの入力キーです。

- 3 [OK] をクリックします。

6.5 他のディレクトリのインデックス作成

Beagleのデフォルトでは、ホームディレクトリのインデックスしか作成されません。ホームディレクトリのインデックスを作成しない場合は、[デスクトップ検索の設定] ダイアログボックスの [インデックスの作成] タブの [ホームフォルダのインデックスを作成する] オプションの選択を解除してください。他のフォルダのインデックスも作成する場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 [コンピュータ] > [その他のアプリケーション] > [システム] > [検索設定] の順にクリックします。

また、[デスクトップ検索] ダイアログボックスで [検索] > [初期設定] の順にクリックして開くこともできます。

- 2 [Indexing] タブをクリックします。



- 3 ダイアログボックスの [全般] セクションの [追加] をクリックします。
- 4 インデックスを作成するディレクトリを選択して、[開く] をクリックします。
追加するディレクトリに対する適切な権限があることを確認してください。
- 5 インデックスを作成するディレクトリのリストからディレクトリを削除するには、目的のディレクトリをリストから選択して [削除] をクリックします。
- 6 [OK] をクリックします。

6.6 ファイルとディレクトリにインデックスをつけない

[検索の初期設定] ダイアログボックスを使用して、インデックスを付けたくないリソースを指定することができます。これらのリソースには、ディレクトリ、パターン、メールフォルダ、オブジェクトの種類が含まれます。

- 1 [コンピュータ] > [その他のアプリケーション] > [システム] > [検索設定] の順にクリックします。
- 2 [Indexing] タブをクリックします。
- 3 [プライバシー] セクションの [追加] をクリックします。
- 4 インデックス付けから除外するリソースを選択し、そのリソースまたはファイル名のパターンへのパスを指定します。
- 5 [OK] を2回クリックします。

6.7 インデックスするデータソースの選択

Beagleでは、さまざまなデータソース、さまざまなアプリケーション(たとえばEvolutionメール、メモおよびタスク、Pidgin会話、Tomboyメモ、Nautilusメタデータなど)からのデータ、ファイル、アプリケーション、文書、マニュアルページなどにインデックスを設定できます。Beagleでインデックスを設定するデータソースを選択するには、次の手順に従います。

- 1 [コンピュータ] > [その他のアプリケーション] > [システム] > [検索設定] の順にクリックします。
- 2 [データソース] タブをクリックします。
- 3 インデックスを設定するデータソースをチェックします。
- 4 [OK] をクリックします。

6.8 Beagleの無効化

低性能のコンピュータでは、Beagleで使用するリソースが多くなりすぎる場合があります。Beagleを無効にするには、[コンピュータ] > [他のアプリケーション] > [システム] > [検索設定] > [検索中] をオンにし、[*the Start search & indexing services automatically*(検索およびインデックス付けサービスを自動的に開始する)] オプションのチェックをオフにします。

また、`/etc/beagle/crawl-rules/`ディレクトリで構成ファイルを編集することによりBeagleを無効にできます。Beagleを無効にするには、オプション `CRAWL_ENABLED` を `no in all crawl-* files in the directory` に設定します。

6.9 詳細情報

Beagleの詳細については、以下のWebサイトで入手可能です。

- Beagleホームページ [<http://beagle-project.org/>]



プリンタの管理

SUSE® Linux Enterprise Desktopでは、コンピュータがプリンタに直接接続されているか、またはネットワークを介してリモートで接続されているかに関係なくドキュメントを簡単に印刷できます。本章では、SLEDでプリンタを設定し、印刷ジョブを管理する方法を説明します。

7.1 プリンタのインストール

プリンタをインストールする前に、rootパスワードを把握して、プリンタ情報を用意しておく必要があります。プリンタに接続する方法に応じて、プリンタURI、TCP/IPアドレスまたはホスト、およびプリンタ用のドライバも必要になる場合があります。SUSE Linux Enterprise Desktopには、さまざまなプリンタドライバが同梱されています。使用するプリンタのドライバが見つからない場合は、プリンタのメーカーのWebサイトで確認してください。

7.1.1 ネットワークプリンタのインストール

- 1 [コンピュータ] >> [コントロールセンター] >> [印刷] >> [新しいプリンタ] >の順に選択します。
- 2 リストから以下のエントリのいずれかを選択します。

AppSocket/HP JetDirect:

コンピュータではなくネットワークに直接接続されているプリンタ

インターネット印刷プロトコル(*ipp*):

同一のネットワークを実行するCUPS上の別のLinuxに接続されているプリンタ、またはIPPを使用する別のオペレーティングシステムに設定されているプリンタです。

LPD/LPRホストまたはプリンタ:

TCP/IPネットワーク経由でアクセスできる別のUNIXシステムに接続されているプリンタまたはプリンタサーバ。

Windows Printer via SAMBA (SAMBA経由でのWindowsプリンタ):

SMBネットワーク上でプリンタを共有する別のシステムに接続されたプリンタです(たとえば、Microsoft Windowマシンに接続されているプリンタ)。設定の詳細については、「5.6項「Windowsネットワークプリンタの設定とアクセス」(114ページ)」を参照してください。

- 3 プリンタの情報を指定したら、**[進む]** をクリックします。
- 4 該当する場合は、このプリンタのプリンタドライバを選択し、**[適用]** をクリックします。ディスクからプリンタドライバをインストールするか(*PPDファイルの提供*)、プリンタメーカーのWebサイトにアクセスして最新のドライバをダウンロードすることもできます(*ダウンロードするプリンタドライバを検索*)。
- 5 **[プロパティ]** ダイアログボックスで適切なプリンタオプション(*説明や場所など*)を設定して、**[適用]** をクリックします。
- 6 rootパスワードを入力します。

インストールされたプリンタが、プリンタパネルに表示されます。これでのアプリケーションからもプリンタに印刷できます。

7.1.2 ローカルプリンタのインストール

- 1 コンピュータにプリンタのケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

プリンタのダイアログボックスが開きます。表示されない場合は、**[Computer]** >> **[コントロールセンター]** >> **[印刷]** >> **[新しいプリンタ]** > の順にクリックして表示します。

- 2 [ローカルプリンタ] をクリックし、 [進む] をクリックして次に進みます。
- 3 このプリンタのプリンタドライバを選択し、 [適用] をクリックします。ディスクからプリンタドライバをインストールするか([PPDファイルの提供] をクリック)、 プリンタメーカーのWebサイトにアクセスして最新のドライバをダウンロードします([ダウンロードするプリンタドライバを検索] をクリック)。
- 4 [プロパティ] ダイアログボックスで適切なプリンタオプション(説明や場所)を設定し、 [閉じる] をクリックします。
- 5 rootパスワードを入力します。

インストールされたプリンタが、 [プリンタ] ダイアログボックスに表示されます。これで、どのアプリケーションからもプリンタに印刷できます。

7.2 プリンタ設定の変更

- 1 [コンピュータ] >> [コントロールセンター] >> [印刷] の順にクリックします。
- 2 変更するプリンタをダブルクリックします。
- 3 プロパティを変更して、 [閉じる] をクリックします。

7.3 印刷ジョブのキャンセル

- 1 [コンピュータ] >> [コントロールセンター] >> [印刷] の順にクリックします。
- 2 ジョブを送信したプリンタを右クリックし、 [プリントキューの表示] をクリックします。
- 3 印刷ジョブを右クリックして、 [キャンセル] をクリックします。

印刷ジョブがリストに表示されない場合、その印刷ジョブはすでに印刷されている可能性があります。

7.4 プリンタの削除

- 1 [コンピュータ] >> [コントロールセンター] >> [印刷] の順にクリックします。
- 2 削除したいプリンタを右クリックし、[削除] を選択します。[Ok] をクリックして、確定します。
- 3 ルートパスワードを入力し、[認証] をクリックします。

8

ユーザデータのバックアップ

ユーザデータのバックアップスケジュールされたバックアップまたは要求に応じたバックアップを作成し、このデータの以前の状態を再生できます。

8.1 バックアップの作成

バックアップの作成

- 1 [コンピュータ] > [他のアプリケーション] で、[ツール] セクションの [バックアップ管理設定] をクリックします。

2

一般 例外 詳細

データの選択

ホームディレクトリのバックアップ

選択したファイルのみバックアップ

ファイルの選択

保存先

場所: 2.0 GBメディア

スケジュール

頻度: 毎日

時刻: 3 : 0 AM

すぐにバックアップ

キャンセル 保存

[一般] タブで、次のオプションを設定します。

Data Selection(データの選択)

バックアッププロセスに含めるファイルおよびディレクトリを選択します。

Storage Destination(ストレージの宛先)

別個のメディア上にあるバックアップの場所を選択します。たとえば、外部ハードディスクやUSBフラッシュドライブなどを指定できます。

スケジュール

頻度と時間を設定します。

必要に応じて、[Backup now(今すぐバックアップ)] を有効にし、データの最初のスナップショットを直ちに作成できます。

3 [Exceptions(例外)] タブで、ファイルとフォルダを追加します。

4 [詳細] タブで、[一般] タブで設定したバックアップデバイス(例: USBフラッシュドライブ)に接続するときの処理を指定します

ディスク容量が不足する場合は、古いバックアップの削除を有効にします。

- 5 [保存] をクリックして設定ダイアログを閉じます。

注意: スケジュールに関する情報

バックアップの日付をスケジュールするために、このツールではユーザの `crontab` を使用します。`crontab` の詳細については、`crontab` マニュアルページを参照してください。

8.2 データの復元

データの以前の状態を復元するには、次の手順に従います。

- 1 [コンピュータ] > [他のアプリケーション] で、[ツール] セクションの [バックアップマネージャ復元] をクリックします。
- 2 復元するファイルとバージョンを選択します。
- 3 [復元] をクリックします。

